

4 個別事業

基本方針と全体構想を踏まえ、中対馬の未来づくりの実現に向けた個別事業を整理

4-1 個別事業の基本的な考え方

「2 基本方針」で設定した“4つの基本方針”と“未来づくりの展望”、そして「3 全体構想」で示した“7つのエリア及びゾーンとスポット”を具体化するために必要となる整備等を“個別事業”として実施していきます。

個別事業は、中対馬全域における「ハード整備」に関するもの（道路環境整備、各種施設の新築及び改修整備など）と「ソフト整備」に関するもの（物販・飲食等、体験プログラム整備、人材育成、各種コース等の設定など）があり、その内容は非常に多岐に渡ります。

そのため、“基本方針”と“未来づくりの展望”から軸がぶれることなく各事業を実施していくために、個別事業に共通する基本的な考え方を整理しました。

■個別事業の基本的な考え方

基本的な考え方①	「女子」の視点を重視する
⇒女子をターゲットにすることによる好循環を目指す	
基本的な考え方②	地域住民も一緒に利用できる
⇒観光客のため「だけ」に整備しない	
基本的な考え方③	身の丈に合わせて段階的に整備する
⇒効果的な整備を進めるために優先度を設定	
基本的な考え方④	対象となる世代を限定しない
⇒現役世代とリタイア世代の協業	

基本的な考え方①:「女子」の視点を重視する

女子を基本ターゲットとして様々な産業や来訪の好循環をつくっていくためには、女子の視点を重視した整備を進めていく必要があります。

例えば、ハード整備においては、「清潔感」や「デザイン性」といった要素を適切に取り入れることが求められますし、ソフト整備においては、飲食や物販であれば「良い見た目」や「特別感」、その他サービスであれば「おもてなしの心」や「気遣い」などを意識して各事業を実施していきます。

基本的な考え方②:地域住民も一緒に利用できる

観光をエンジンに各産業を盛り上げていくことを目指すには、各事業で実施する内容が「観光客のためだけ」ではなく、地域住民が普段から利用できるものである必要があります。

例えば、アクティビティやリゾートの創出は、中対馬の地域資源を活かして島外からの観光客を呼び込む戦略のひとつです。しかし、サイクリングやトレッキング、自然の中で癒しの時間を過ごすといったことを「地域住民が日常の中で普段から活動」することで、地域の活力向上や健康増進につながるだけでなく、アクティビティやリゾートを地域のイメージ(ブランド)として定着することにもつながり、さらには誘客にもつながっていきます。多くの観光客は、「地元で人気のある場所・おすすめの場所」や「地元の人が食べているもの」を体験したいと考えているものです。

未来づくりの主役は地域であることを踏まえ、観光客と地域住民が一体的に利用できる整備を図ります。

基本的な考え方③:身の丈に合わせて段階的に整備する

中対馬全域を対象とした各事業すべてを実施するには、膨大な事業費が必要になります。

中対馬の未来づくりを見据えるとすべて必要な事業ではありますが、現実的な問題を考慮し、事業効果や事業間の波及効果等を踏まえた「整備優先度」を設定します。

具体的には、「短期(平成 30~34 年)」、「中期(平成 35~39 年)」、「長期(平成 40 年以降)」の3段階に分けて設定しますが、事業の進捗状況や影響度等を随時確認し、優先度の修正検討を加えながら段階的に整備を実施していきます。

基本的な考え方④:対象となる世代を限定しない

島外への若者流出と少子高齢化の進行する現状においては、各事業を現役世代だけで実施することは難しいと状況となっています。

また、リタイア世代には、現役世代にはない知識と経験があります。未来づくりを進めるためには、現役世代が中心的な役割を担うことはもちろんですが、リタイア世代の「知識と経験」による意見・指導を頂きながら、時には中心的な役割として地域を牽引して頂くことも重要となります。

各事業の実施にあたっては、現役世代の価値観と行動力、リタイア世代の知識と経験を組み合わせながら世代を限定しない一体的な取り組みを進めていきます。

4-2 個別事業一覧

全体構想で示したエリアとゾーン及びスポットの考え方を踏まえ、個別事業と事業内容、区分(ソフト整備とハード整備)、事業主体、関連事業者について、次頁以降に一覧で整理しました。

■個別事業一覧(中対馬の奥座敷エリア、活力と安らぎの滞在エリア、岬のお散歩エリア)

個別事業 No	事業名(大分類)	事業内容(小分類)	区分	事業主体
1-1	歴史を体感する周遊アクティビティフィールド整備事業	サイクリング・トレッキングコース整備事業	ハード	市
		案内板、サイクルスタンド、自販機設置、既存バス停建物の改修、Wi-Fi環境整備	ハード	市
1-2	旧久原小中学校活用事業	宿泊、飲食施設(地元産品の食の提供)整備	ハード	市
		トイレ整備事業	ハード	市
1-3	西海岸の眺望景観整備事業	女連磯道整備事業	ハード	市
		ゴリラ島の眺望確保対策整備	ハード	市
		案内板設置(※設置場所は要検討)	ハード	市
1-4	港の飲食店強化事業	マグロ、アカムツ飲食店整備事業	ハード	市
2-1	青海の花畑スポット整備事業	青海の花畑スポット整備事業	ソフト&ハード	市
2-2	海辺と森のリゾートフィールド整備事業	野鳥の森、海神神社、木坂の海岸の活用	ソフト&ハード	市
2-3	星空とホテルの観察スポット整備事業	星空とホテル満喫施設設置	ソフト&ハード	市
2-4	スポーツ関連施設整備事業	県立対馬青年の家活用事業	ソフト&ハード	市
		ファミリーパーク活用事業	ハード	市
		施設間送迎サービス	ソフト	交通事業者
2-5	峰・木坂中核拠点整備事業	御前浜園地活用事業(キャンプ場、せんだんご茶屋、案内板、Wi-Fi環境整備)	ソフト&ハード	市
		峰町歴史民俗資料館活用事業	ソフト&ハード	市
3-1	海辺の中核拠点整備事業	旧豊玉町振興公社活用事業	ハード	市
		大綱空き地活用事業	ソフト&ハード	市
		施設間送迎サービス	ソフト	交通事業者
3-2	岬のアクティビティフィールド整備事業	定置網体験事業	ソフト	市
		サイクリングコース整備事業	ハード	市
		釣り堀設置事業	ソフト&ハード	市
		世界最北端サンゴ礁保全活用事業	ソフト	市
3-3	大石浦砲台ルート整備事業	大石浦砲台ルート整備事業	ハード	市
3-4	廻空き地活用事業	岬カフェ整備事業	ソフト&ハード	市

関連事業者	備考	対象エリア名	
アウトドア関連事業者 地域の飲食・小売事業者	コース検討、既存マップへの追加、案内板・誘導サインの整備 ブルーライン、距離標等の整備	中対馬の 奥座敷エリア	
アウトドア関連事業者 小売事業者	案内板は、「中対馬の奥座敷エリア」の整備がある程度完了してから設置 Wi-Fi 環境整備は、休憩施設整備が完了後に実施		
宿泊・飲食・小売事業者	校舎棟と体育館は宿泊、飲食施設として整備 グラウンドに駐車場を整備		
—	屋外トイレ整備		
—	遊歩道整備		
漁協	事業効果を検証して実施		
—	立岩、佐奈豊公園からの夕日等、周辺地域資源の案内板設置		
漁業従事者 飲食事業者	他の事業による集客効果をみて検討		
農業振興公社 花を愛する会(仮称)	ひまわりやそばの花から種を採取し、油を抽出するなどの加工場を計画 ヒツバタゴを植栽し、ライトアップ		活力と安らぎの 滞在エリア
野生生物保護センター 神社関係者(氏子団体等)	インストラクター養成、誘致検討 イベント企画、案内板、誘導サインの整備		
地元農家、交通事業者 飲食事業者	地元農水産物を使った料理提供、ほたるの湯と他施設の送迎サービス		
教育委員会	スポーツ合宿誘致に向けた施設として、建物改修検討		
スポーツ・アウトドア関連事業者 教育委員会	スポーツ合宿誘致に向けた宿泊施設として、キャンプ場設置検討		
—	ファミリーパーク→シャインドーム→ほたるの湯、 木坂御前浜園地→ほたるの湯、星空観察スポット→ほたるの湯 の送迎		
振興局 地元婦人部	キャンプ場整備、周辺施設の案内板設置、Wi-Fi 環境整備 せんだんご茶屋協力者検討 せんだんご茶屋整備 (峰町歴史民俗資料館、木坂御前浜園地)		
観光物産協会	対馬市博物館(仮称)建設後の収蔵品再配置による資料館の空き室を利用し、スポーツ・宿泊・物産等の情報提供 ※博物館は 2020 年中にオープン予定		
対馬地域商社 地元生産者	地域商社と連携した食品加工体験、加工品販売等 ※対馬地域商社の新設建物は海側に H31 年 3 月完成予定 →旧施設を活用してかき小屋や体験施設の整備⇒雇用につなげる (対馬地域商社、大綱の空き地)		
対馬地域商社 地元生産者	浜焼き食堂(かき小屋等)、駐車場、サイクルスタンド、案内板、Wi-Fi 環境整備		
—	仁位と中核拠点施設(大綱、対馬地域商社跡地)を結ぶ送迎サービス ※周辺施設の整備完了後の検討		
定置網漁師等	定置網漁師等と連携して実施		
アウトドア関連事業者	サイクリングコースの検討、ライン引き等の路面整備		
漁協 地元漁業従事者	釣った魚を料理して食べる施設も設置		
漁協、地元漁業従事者 国立環境研究所	専門機関と連携し保全に努め、世界最北端としての価値を PR し、 観光スポットとなるよう努める		
観光物産協会 遊漁船事業者	大石浦砲台を案内するトレッキングコースの整備		
飲食事業者 漁協、水産関連事業者	鯨組墓地付近の空き地を活用して飲食施設、案内板、サイクルスタンド、トイレ、自販機、駐車場等整備		

■個別事業一覧(“対馬のへそ”交流拠点エリア、浅茅湾満喫エリア)

個別事業 No	事業名(大分類)	事業内容(小分類)	区分	事業主体
4-1	神話の里自然公園再整備事業	キャンプ場再整備事業	ハード	市
		古民家活用事業	ソフト	市
		憩いの家を活用して物販	ソフト	市
		海上マーケット(海からキャンプ食材を調達)、釣り桟橋を整備	ソフト&ハード	市
		神話の里ジップライン整備事業	ソフト&ハード	市
		和多都美神社で挙式	ソフト	和多都美神社
4-2	烏帽子岳～糸瀬ルート整備事業	烏帽子岳一方通行道路新設事業	ハード	市
4-3	神話と寄り添う体験フィールド整備事業	海上サイクリングロード新設事業	ハード	市
		烏帽子岳トイレ上芝生スペース活用事業	ソフト	市
		ドローンを活用した烏帽子岳のVR空中散歩	ソフト	市
		烏帽子岳ジップライン整備事業	ハード	市
4-4	魅力ある“まちなか”整備事業	共同キッチン・食品加工所整備事業	ソフト&ハード	市
		案内所整備事業	ソフト&ハード	市
		フラワーロード整備事業	ソフト	市
		寄り合い処整備事業	ソフト&ハード	市
		豊玉町郷土館整備事業	ハード	市
		ふれあい工房活用事業	ソフト	市
4-5	浅茅湾玄関口整備事業	地域の産業(水産業・林業等)と連携して魅力を紹介	ソフト	市
		渡海船発着所に綺麗なトイレや憩いの場を設置	ハード	市
5-1	浅茅湾周遊プログラム整備事業	真珠養殖業者と連携し、後継者育成を兼ねて真珠加工体験を実施	ソフト	市
		シーカヤック、SUP、水上自転車等の体験、拠点の整備	ソフト&ハード	市
		無人島上陸体験(シーカヤックを利用、無人島女子会プラン)	ソフト	市 (渡海船)
		渡海船の運航と組み合わせたプログラム整備(船上レストラン等)	ソフト	市 (渡海船)
		各港の渡船場にルートや見所を紹介する案内板を設置	ハード	市
		浅茅湾ホッピング事業	ソフト&ハード	市
		5-2	海上の新たな魅力創出事業	海から眺めるゲンカイツツジの整備
		いかだレストラン整備事業	ソフト&ハード	市
		いかだ宿整備事業	ソフト&ハード	市
5-3	狭瀬戸海底掘削事業	狭瀬戸海底を1.5m程度掘削し、渡海船の利便性向上を図る	ハード	市

関連事業者	備考	対象エリア名
アウトドア関連事業者	コテージを9棟増設、オートキャンプサイトの新設、グランピング施設新設、ハーバルサウナ、ジップライン、既存トイレ撤去+新設(入口駐車場)、遊具の更新	”対馬のへそ” 交流拠点エリア
—	宿泊、各種体験(そば打ち、着物等)施設として活用 キャンプ場整備と併せて実施	
商工会	付加価値の高い商品の販売(スイーツスタンド)	
地元生産者	神話の里シーカヤック艇庫付近に浮き桟橋を設置	
アウトドア関連事業者	神話の里に計190mのジップライン(2ライン)を整備	
観光物産協会	神話の里やまちなかと連携した神社挙式の実施検討	
交通事業者	烏帽子岳ルートの混雑解消に向けた整備	
スポーツ・アウトドア関連事業者	総合運動公園～カラネコの鼻～玉の井へ至るサイクリングロードの整備	
—	屋外ヨガ等の実施	
ドローン事業者	烏帽子でドローンを飛ばしてVR体験、神話の里でも鑑賞可 (雨天時に眺望を楽しめないときのサービス提供も)	
アウトドア関連事業者	烏帽子岳に約70mのジップライン整備	
地元婦人部、飲食事業者	神話の里キャンプ場へ食材、料理を提供	
観光物産協会	レンタサイクル、仁位市街地案内施設(韓国語通訳配置)を設置	
花を愛する会(仮称) 商工会	仁位市街地～仁位港にかけて沿道を花で彩る、川沿い歩道の桜並木のライトアップ	
観光物産協会 商工会	空き家を活用し、地域住民(地元の主婦等)の交流の場を整備、Wi-Fi環境整備	
観光物産協会	博物館建設後、收藏品再配置に伴う空きスペース等の有効活用	
林業関連事業者	DIYに興味がある地域住民や空き家を取得した移住者等に対し、大工が指導する場所として活用	
水産関係飲食店 林業関連事業者	水産関係飲食店と林業関連事業者と連携し、神話の里やふれあい工房を活用した事業の展開	
—	狭瀬戸の整備後に渡海船の有効活用を検討	
真珠養殖業者、商工会 観光物産協会	真珠加工体験プログラムの検討と協力依頼	
商工会 マリンスポーツ事業者	シーカヤック:対馬エコツアー、対馬カヤックス、商工会 SUP:アビス等 各事業主体と協議、検討して実施	
マリンスポーツ事業者、旅行・飲食 事業者、観光物産協会	使える島と使えない島を今後検討して絞っていく	
飲食事業者 観光物産協会	渡海船デッキに、移動販売のような簡易的な店を出し、観光名物として売り込む	
観光物産協会	渡海船のプログラム整備と連動して設置検討	
観光物産協会	遊漁船の就航する場所は今後検討して絞っていく	
花を愛する会(仮称)	ゲンカイツツジによる魅力ある海上景観の創出	
飲食事業者、遊漁船事業者	神話の里、卯麦、佐志賀、嵯峨、濃部の沿岸部に設置	
旅行・宿泊事業者 遊漁船事業者	いかだレストランの検証を受け、いかだ宿を整備	
市(渡海船)	渡海船の新規航路検討のための整備	

■個別事業一覧(漁業と食の生業発信エリア、ゆったり島暮らしエリア、中対馬全域(共通))

個別事業 No	事業名(大分類)	事業内容(小分類)	区分	事業主体
6-1	豊玉東部周遊アクティビティフィールド整備事業	サイクリング、トレッキングコース整備事業	ハード	市
		コース誘導等の案内板設置	ハード	市
		旧塩浦小学校を活用したサイクリング、トレッキングコースの周遊拠点整備	ハード	市
		旧塩浦小学校を活用したチャレンジショップの整備	ソフト&ハード	市
		旧塩浦小学校を活用した宿泊・飲食施設の整備	ソフト&ハード	市
6-2	旧志多賀小学校活用事業	共同キッチン整備	ハード	市
		旧志多賀小学校を活用した6次産業体験施設の整備	ソフト&ハード	市
		6次産業体験と連動した体験農園整備	ソフト&ハード	市
6-3	佐賀漁港活用・商業交流拠点強化事業	ハートランド近隣にトイレ新設	ハード	市
		ハートランドの拡充	ソフト&ハード	市
		フィッシュアリーナ整備構想	ソフト&ハード	市
6-4	峰港空き地活用事業	商業施設の誘致や漁の生業が見える水族館の整備	ソフト&ハード	市、県、国
		高齢受刑者の留置場(更正施設)、沿岸警備施設等の整備	ハード	市、県、国
		東海岸の海上交通ルート整備	ハード	航路事業者
7-1	しまの周遊アクティビティフィールド整備事業	旧鴨居瀬小学校を活用した特産品、農産物販売所の整備	ソフト&ハード	市
		旧鴨居瀬小学校を活用した自然の安らぎゾーン(赤島、黒島)の魅力紹介	ソフト	市
		赤島、黒島の海岸部を活用し、シーカヤック体験等を実施	ソフト	市
		サイクリング・トレッキングコースの設定(海上タクシー区間を含む)	ソフト&ハード	市
		西の漕出からの遊覧航路の整備	ソフト	市
7-2	しま暮らし満喫プログラム整備事業	西の漕出入り口の駐車スペース、トイレの拡充・再整備	ハード	市
		写真スポット等の案内施設の充実	ハード	市
		赤島、黒島の海岸部を活用し、宿泊施設やカフェ等を整備	ソフト&ハード	市
		スローフード飲食店整備	ソフト&ハード	市
		民泊・宿泊施設の整備	ソフト&ハード	市
8-1	新しい中対馬情報発信事業	赤島での長期滞在者向けの送迎サービスを実施(空港等～赤島)	ソフト	交通事業者
		パンフレット作成、市HP掲載、渡海船での映像PR、地域の観光情報提供	ソフト	市
8-2	Wi-Fi環境整備事業	各スポットにWi-Fi環境を整備	ハード	市
8-3	民泊施設・移住支援住宅等整備事業	空き家や空き部屋を活用した整備	ソフト&ハード	市
		職業体験や次世代の担い手の養成事業	ソフト	市

関連事業者	備考	対象エリア名	
アウトドア関連事業者 林業事業者	他のコースとの連携・整備効果を検討しながら新コースの検討と路面整備・草刈等を実施	漁業と食の生業発信エリア	
観光物産協会	コース整備後に設置		
アウトドア関連事業者 飲食・小売事業者	サイクリング、トレッキング関連備品の貸し出し等 体育館はボルダリング施設の整備 ※施設の安全性等により活用できない可能性あり		
商工会 新規創業希望者	※施設の安全性等により活用できない可能性あり		
宿泊・飲食事業者 アウトドア関連事業者	キャンプ場整備、トイレ、駐車場整備 ※施設の安全性等により、活用できない可能性あり		
食生活改善推進協議会 地域婦人部	地域産品の開発に向けて住民が気軽に利用できる施設の整備		
対馬いとなみ協議会 商工会、農協、漁協 対馬地域商社	新たな地域産品の開発・PR(体験)施設の整備 ※ニーズを踏まえてジビエ加工等も将来的に検討		
地元農家	地元農家と協力連携して実施		
—	対馬東部の周遊を支援する整備		
ハートランド出店者	「いろり」の場所に飲食店新設(公募)、共有フリースペース新設、Wi-Fi 環境整備 ※民間主導で実施(市は支援・指導等)		
地元飲食・宿泊事業者 漁協(全体)、遊漁船事業者	飲食店整備、水産物販売施設、プレジャーボート係留施設、駐車場整備、Wi-Fi 環境整備		
漁業従事者	※峰港については県との調整が必要(港湾の利用計画確認)		
—	※地域住民の合意形成と国との調整協議等が必要		
—	福岡までの高速船整備		ゆったり島暮らしエリア
地元農家、観光物産協会	※旧鴨居瀬小学校は書類倉庫として利用しているため、可能か確認必要。 ※グラウンドは地域住民が使用している(除草等も地域で実施)		
観光物産協会、観光ガイド団体	※旧鴨居瀬小学校は書類倉庫として利用しているため、今後、利用可能か検討・調整が必要。		
マリンスポーツ事業者 観光物産協会	マリンスポーツ事業者と連携して実施		
観光物産協会、観光ガイド団体 林業事業者、遊漁船事業者 スポーツ・アウトドア関連事業者	サイクリングコースの検討、ライン引き等の路面整備		
遊漁船事業者、観光物産協会 観光ガイド団体	地域の歴史紹介・神話の里古代のコスプレ体験等と連携		
—	立ち寄り・休憩スポットとしての分かりやすさを考慮		
観光物産協会	赤島への入口や赤島大橋に案内板等を整備、Wi-Fi 環境整備		
漁協、農協 商工会、観光物産協会	赤島、黒島の海岸部を活用した宿泊施設やカフェ等の整備とリゾートプログラムの実施		
飲食事業者、観光物産協会	赤島の製塩所などと連携したスローフードを提供する飲食店を整備		
観光物産協会、空き家所有者、民泊創業 希望者、グリーン・ブルーツーリズム協会	長期滞在を対象として空き家を活用した受け入れ施設を整備		
民泊創業希望者	買い物支援としての送迎サービスを併せて実施		
観光物産協会、郵便局	各個別事業の整備後に実施、パンフレット・市 HP・渡海船での映像 PR 等	中対馬全域 (共通)	
エリアオーナー、通信事業者	各施設の整備状況に応じ、適宜実施		
観光物産協会、空き家所有者、民泊創業 希望者、グリーン・ブルーツーリズム協会	各施設の整備状況に応じ、適宜実施		
地域内の各種事業者	移住支援策として、移住支援住宅とセットになった職業体験や養成事業(農林水商観)、インストラクター養成・誘致事業を実施		

4-3 個別事業の整備イメージ

4-3-1 整備テーマ別の分類

個別事業の整備イメージを整理するにあたって、整備テーマ別に以下のとおり分類しました。各個別事業は、緊急性や早期着手が可能な事業から実施します。

整備テーマ①:中対馬の中心拠点関連整備

個別事業を進めていく上で、中対馬全域への影響が高く、また、他の個別事業への波及効果も高いと考えられる整備テーマである「中対馬の中心拠点関連整備」を以下のとおり整理しました。

神話の里や烏帽子岳は、中対馬のみならず対馬全体の中心部でもあり、かつ現在も来訪者が非常に多い場所ですが、滞在機会の提供や“おもてなし”を十分にできているとは言い難い状況であるため、中対馬の活性化・未来づくりを進めるうえでの起爆剤となることを目指して事業を実施します。

■「中対馬の中心拠点関連整備」に関する個別事業

個別事業 No	事業名
4-1	神話の里自然公園再整備事業
4-2	烏帽子岳～糸瀬ルート整備事業
4-3	神話と寄り添う体験フィールド整備事業
4-4	魅力ある”まちなか”整備事業

整備テーマ②:周遊アクティビティ関連整備

サイクリングやトレッキングといった周遊アクティビティは、現在もニーズが高く、また、整備に関連する事業費も然程高くないことから、中対馬全域に滞在するきっかけを創出することを目指す整備テーマとして「周遊アクティビティ関連整備」を分類しました。

■「周遊アクティビティ関連整備」に関する個別事業

個別事業 No	事業名
1-1	歴史を体感する周遊アクティビティフィールド整備事業
7-1	しまの周遊アクティビティフィールド整備事業
3-2	岬のアクティビティフィールド整備事業
2-1	青海の花畑スポット整備事業
2-2	海辺と森のトリートフィールド整備事業
6-1	豊玉東部周遊アクティビティフィールド整備事業

整備テーマ③: アクティビティを支援する周辺拠点関連整備

アクティビティやリゾートに関連して中対馬全域に滞在する来訪客の満足度の向上を目指すため、周遊アクティビティ関連整備と連動して実施する整備テーマとして「アクティビティを支援する周辺拠点関連整備」を分類しました。

■「アクティビティを支援する周辺拠点関連整備」に関する個別事業

個別事業 No	事業名
1-2	旧久原小中学校活用事業
3-1	海辺の中核拠点整備事業
1-3	西海岸の眺望景観整備事業
5-2	海上の新たな魅力創出事業
7-2	しま暮らし満喫プログラム整備事業
2-5	峰・木坂中核拠点整備事業

整備テーマ④: 浅茅湾の魅力向上に向けた整備

浅茅湾に関連する整備は、実現化によって中対馬により一層の魅力を与えるものですが、海に関する整備であるために環境への影響調査を含めて様々な調整を要する事業です。浅茅湾に関連する整備テーマとして「浅茅湾の魅力向上に向けた整備」を分類しました。

■「浅茅湾の魅力向上に向けた整備」に関する個別事業

個別事業 No	事業名
5-1	浅茅湾周遊プログラム整備事業
5-3	狭瀬戸海底掘削事業
4-5	浅茅湾玄関口整備事業

整備テーマ⑤: 低未利用資源を活用した整備

空き地や利用率があまり高くない施設等を対象として新たな魅力の創出や利用率の向上を目指す整備テーマとして「低未利用資源を活用した整備」を分類しました。

なお、事業にと連動して各エリアの拠点的に位置づけられる事業を含みますが、事業費が比較的高く、また、即効性の高い整備とは言い難い内容でもあるため、他の個別事業の効果を見ながら検討していきます。

■「低未利用資源を活用した整備」に関する個別事業

個別事業 No	事業名
2-3	星空とホテルの観察スポット整備事業
6-3	佐賀漁港活用・商業交流拠点強化事業
2-4	スポーツ関連施設整備事業
3-3	大石浦砲台ルート整備事業
6-2	旧志多賀小学校活用事業

整備テーマ⑥：中対馬の“更に未来”を目指す整備

低未利用資源を活用した整備と同様に、他の個別事業の進捗と連動することで効果を発揮する整備であることや、事業によっては国や県などと長期的な調整が必要となることから、中対馬の「更に未来」を目指すための整備テーマです。「中対馬の“更に未来”を目指す整備」に分類される個別事業は以下のとおりです。

■「中対馬の“更に未来”を目指す整備」に関する個別事業

個別事業 No	事業名
1-4	港の飲食店強化事業
3-4	廻空き地活用事業
6-4	峰港空き地活用事業

整備テーマ⑦：中対馬全域で共通して実施する整備

情報環境や居住インフラなど、他の整備テーマに関連して全域で実施していく事業です。「中対馬全域で共通して実施する整備」に分類される個別事業は以下のとおりです。

■「中対馬全域で共通して実施する整備」に関する個別事業

個別事業 No	事業名
8-1	新しい中対馬情報発信事業
8-2	Wi-Fi 環境整備事業
8-3	民泊施設・移住支援住宅等整備事業

4-3-2 個別事業の進め方のイメージ

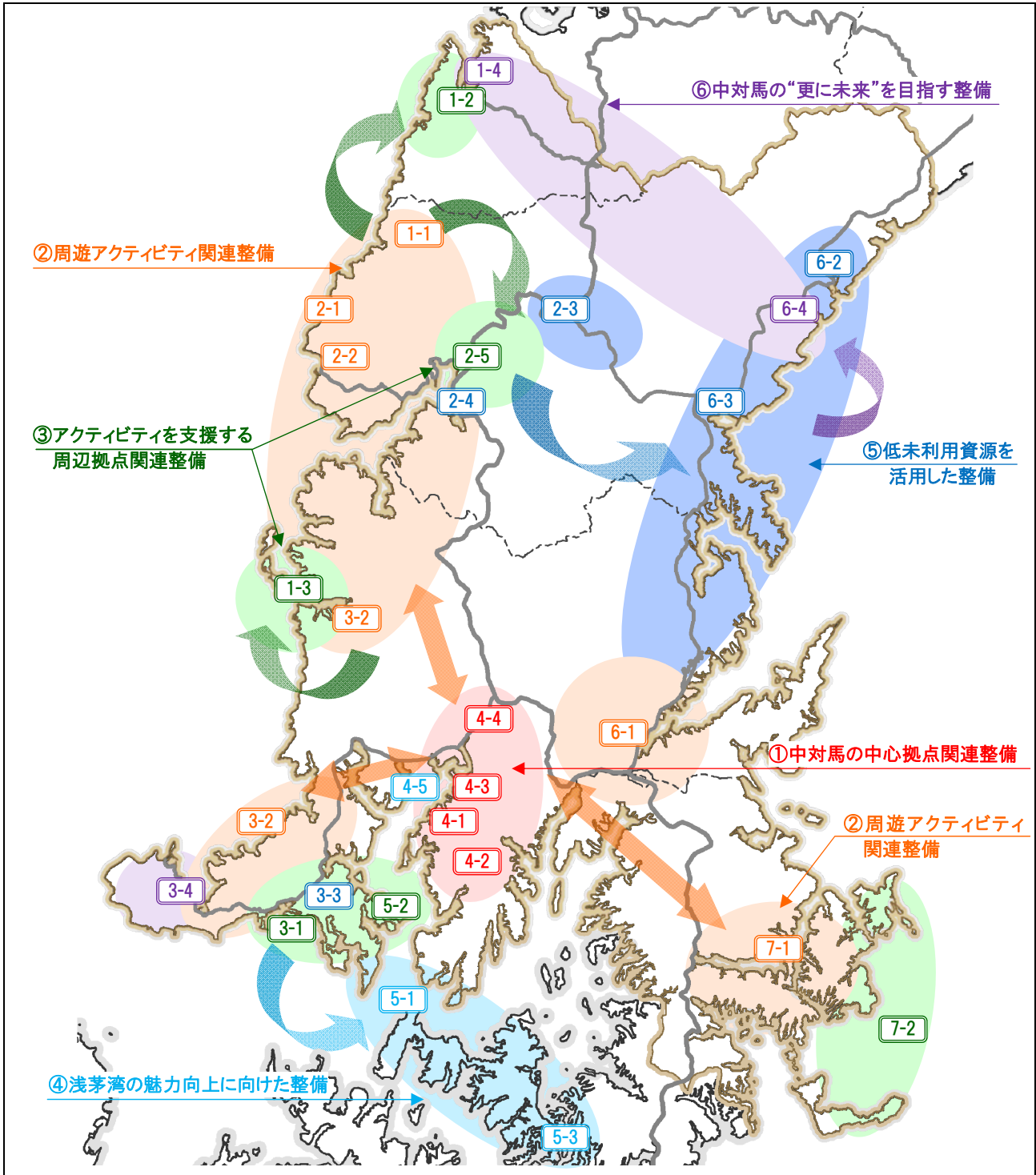
個別事業の内容は、非常に多岐に渡るため、整備効果や影響度を踏まえて段階的に実施します。

■個別事業の分類

※①～⑦は、整備テーマを示します。

ウエスト		センター	
②	1-1 歴史を体感する周遊アクティビティフィールド整備事業	①	4-1 神話の里自然公園再整備事業
③	1-2 旧久原小中学校活用事業	①	4-2 烏帽子岳～糸瀬ルート整備事業
③	1-3 西海岸の眺望景観整備事業	①	4-3 神話と寄り添う体験フィールド整備事業
⑥	1-4 港の飲食店強化事業	①	4-4 魅力ある”まちなか”整備事業
②	2-1 青海の花畑スポット整備事業	④	4-5 浅茅湾玄関口整備事業
②	2-2 海辺と森のリゾートフィールド整備事業	④	5-1 浅茅湾周遊プログラム整備事業
⑤	2-3 星空とホテルの観察スポット整備事業	③	5-2 海上の新たな魅力創出事業
⑤	2-4 スポーツ関連施設整備事業	④	5-3 狭瀬戸海底掘削事業
③	2-5 峰・木坂中核拠点整備事業	イースト	
③	3-1 海辺の中核拠点整備事業	②	6-1 豊玉東部周遊アクティビティフィールド整備事業
②	3-2 岬のアクティビティフィールド整備事業	⑤	6-2 旧志多賀小学校活用事業
⑤	3-3 大石浦砲台ルート整備事業	⑤	6-3 佐賀漁港活用・商業交流拠点強化事業
⑥	3-4 廻空き地活用事業	⑥	6-4 峰港空き地活用事業
		②	7-1 しまの周遊アクティビティフィールド整備事業
		③	7-2 しま暮らし満喫プログラム整備事業
中対馬全域			
⑦	8-1 新しい中対馬情報発信事業	⑦	8-3 民泊施設・移住支援住宅等整備事業
⑦	8-2 Wi-Fi 環境整備事業		

■個別事業の進め方のイメージ



4-3-3 個別事業の詳細

整備テーマ別の分類を踏まえ、個別事業の詳細(整備イメージ)を次頁以降にカルテ形式で整理しました。

神話の里自然公園再整備事業（1/3）

事業対象地	神話の里、和多都美神社	
対象エリア	“対馬のへそ”交流拠点エリア	
対象ゾーン	自然と歴史ロマン満喫ゾーン	
整備カテゴリ	ハード整備	建築施設(改修)、小規模施設(新築)、 広場・屋外等
	ソフト整備	人材育成、イベント企画
事業概要	神話の里は地域住民に日常的に利用され、また、観光客等によるキャンプ施設の利用は増加傾向にあります。全体の収支に関しては損失が多くなっている状況となっています。和多都美神社や烏帽子岳への観光客等が増加していることを機に、当該地への立ち寄り客や滞在客をさらに増加させることを目的とした新たな宿泊施設等を導入することにより、当該地域周辺の活性化を目指します。	
整備優先度	短期・中期・長期	
関連する個別事業	魅力ある“まちなか”整備事業、民泊施設・移住支援住宅等整備事業、新しい中対馬情報発信事業 Wi-Fi環境整備事業	
事業主体	対馬市、和多都美神社	
連携事業者	アウトドア関連事業者、商工会、地元生産者、観光物産協会	
備考		



中対馬を盛り上げる“エンジン”としての神話の里自然公園の位置づけ

対馬にきた国内外観光客の多くが烏帽子岳を訪れる

➡ 年間 13~14 万人が烏帽子岳へ

一方、

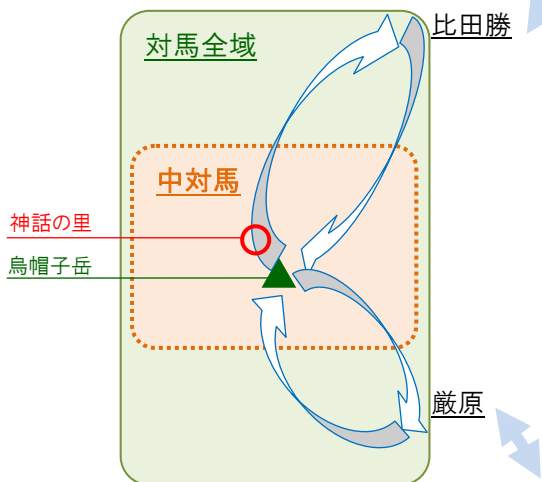
展望所から眺望を楽しむのみで滞在時間は短く、
地域にお金を落としてもらう機会を逸している状況

また、近年のアウトドアブームも後押しして、
神話の里自然公園のキャンプ等宿泊利用者は増加傾向

➡ H26:約 2,000 人→H28:約 3,800 人

しかし、

利用者数の増加に伴い、維持管理等の支出が増え、
収支としては赤字が続いている状況(P.62 参照)



「烏帽子岳への来訪者数の増加」

と

「宿泊利用者数の増加」

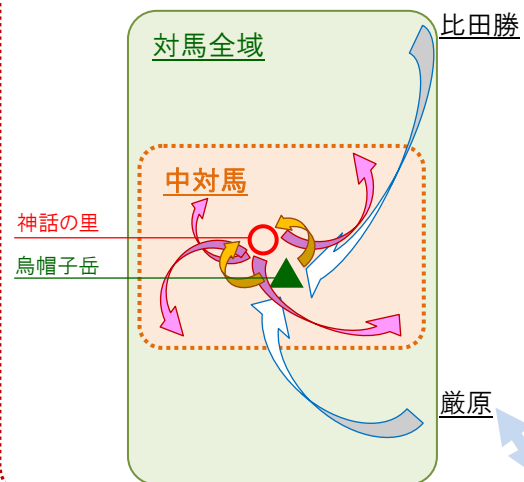
をエンジンとして、中対馬全体を盛り上げるため

まずは、

神話の里自然公園の魅力向上による
利用率向上と収支状況の改善、そして
地域全体の活性化を目指す！

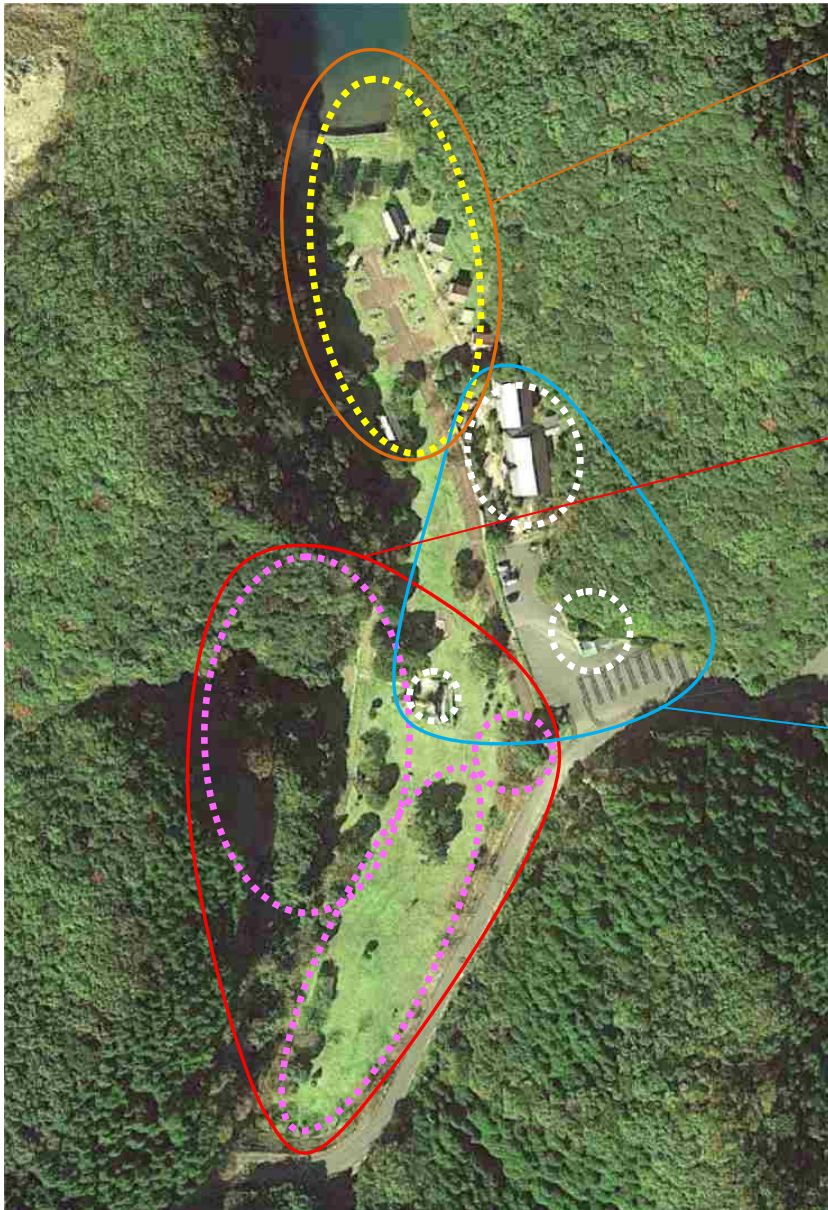
★既存のプラス要素を最大限に活かす

★付加価値の高いサービスを提供する



整備計画図

全体計画図



①コテージ・キャンプサイトの再整備

- ・コテージの増設
- ・グランピングの新設
- ・ハーバルサウナの新設
- ⇒臭気の苦情がある既存トイレを撤去
- ・浮き栈橋の新設
- ⇒キャンプ食材を届ける海上マーケット
和多都美神社と海上で連携
キャンプ場から直接 浅茅湾を遊覧

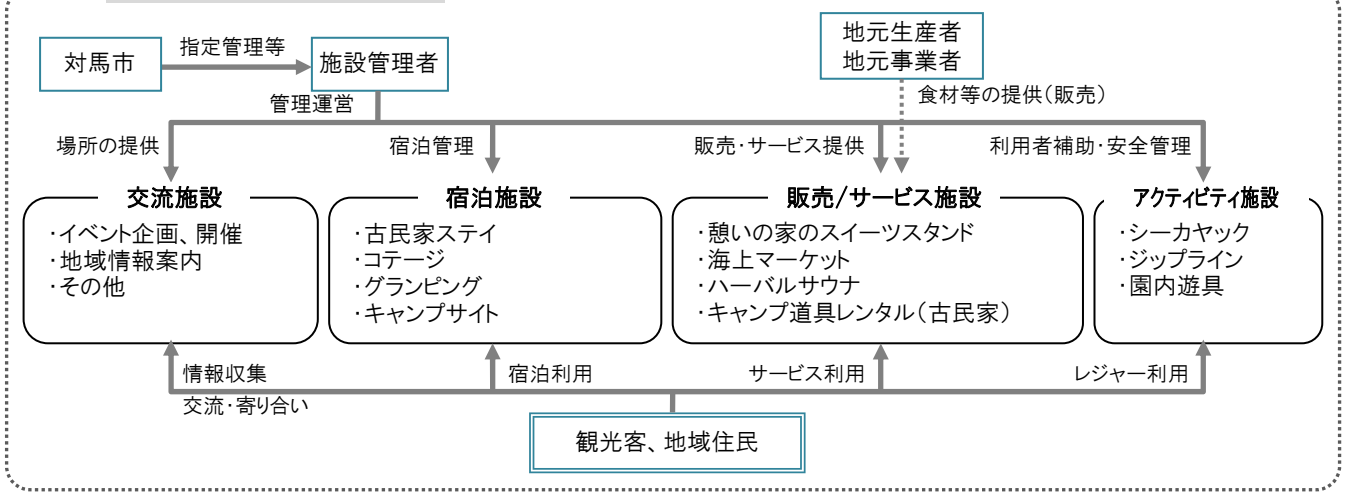
②芝生広場の再整備

- ・案内板の新設
- ・キャンプサイトとして開放
- ・水飲み場の新設(キャンプ対応)
- ・ジップラインの整備

③既存施設の付加価値向上

- ・古民家の再整備
- ⇒宿泊に対応するための改修
キャンプ道具レンタル
ヨガスペース、出張エステスペース
イベントツールストック(貸衣装等)
- ・憩いの家の改修
- ⇒付加価値の高い商品を提供
(中対馬のスイーツスタンド)
- ・トイレの新設(入口駐車場付近)
- ・遊具の更新

神話の里自然公園の利用イメージ



神話の里自然公園再整備事業 (2/3)

整備計画図①

①コテージ・キャンプサイトの再整備

＜海岸沿い＞・浮き桟橋の整備
⇒釣り利用、海からキャンプ食材を調達する海上マーケット

＜芝生広場＞・グランピング施設の整備(3棟)

＜既存ログハウス・常設テントサイト＞
・既存施設(ログハウス2棟、テントサイト2箇所)をコテージに改修
⇒既存コテージと合わせて計5棟(各2人用)



＜既存オートキャンプテントサイト＞
・新規コテージの整備(4人用:3棟、6人用:2棟)
・オートキャンプテントサイト4面撤去

＜既存トイレ棟＞
・トイレの撤去
→神話の里入口部へ
・ハーバルサウナの 신설

整備の考え方:

キャンプ施設(コテージ、グランピング施設)は既存のコテージの近くに集約するとともに、海で遊んだり、海の眺めを堪能できるように、できるだけ海に近い場所に整備します。

整備イメージ①



海辺のグランピング



※ハーバルサウナ:
ハーブの蒸気を発生させて全身に浴びるリラクゼーション効果の高いサウナ

ハーバルサウナ

■整備後の宿泊収支イメージ

＜初期費用＞

整備費(計) : 5,800万

コテージ(9棟新設) : 3,800万

グランピング(3棟) : 2,000万

＜運営費用＞

運営費(神話の里一式) : 800万/年

＜収益＞

宿泊料 : 1,250万/年

コテージ(2人用5棟) : 160万/年

(稼働率30%、1,500円/人・泊 平均2.0人想定)

コテージ(4人用3棟) : 280万/年

(稼働率30%、2,500円/人・泊 平均3.5人想定)

コテージ(6人用2棟) : 270万/年

(稼働率30%、2,500円/人・泊 平均5.0人想定)

グランピング(3棟) : 380万/年

(稼働率20%、7,000円/人・泊 平均2.5人想定)

キャンプサイト(20張) : 160万/年

(稼働率15%、750円/人・泊 平均2人想定)

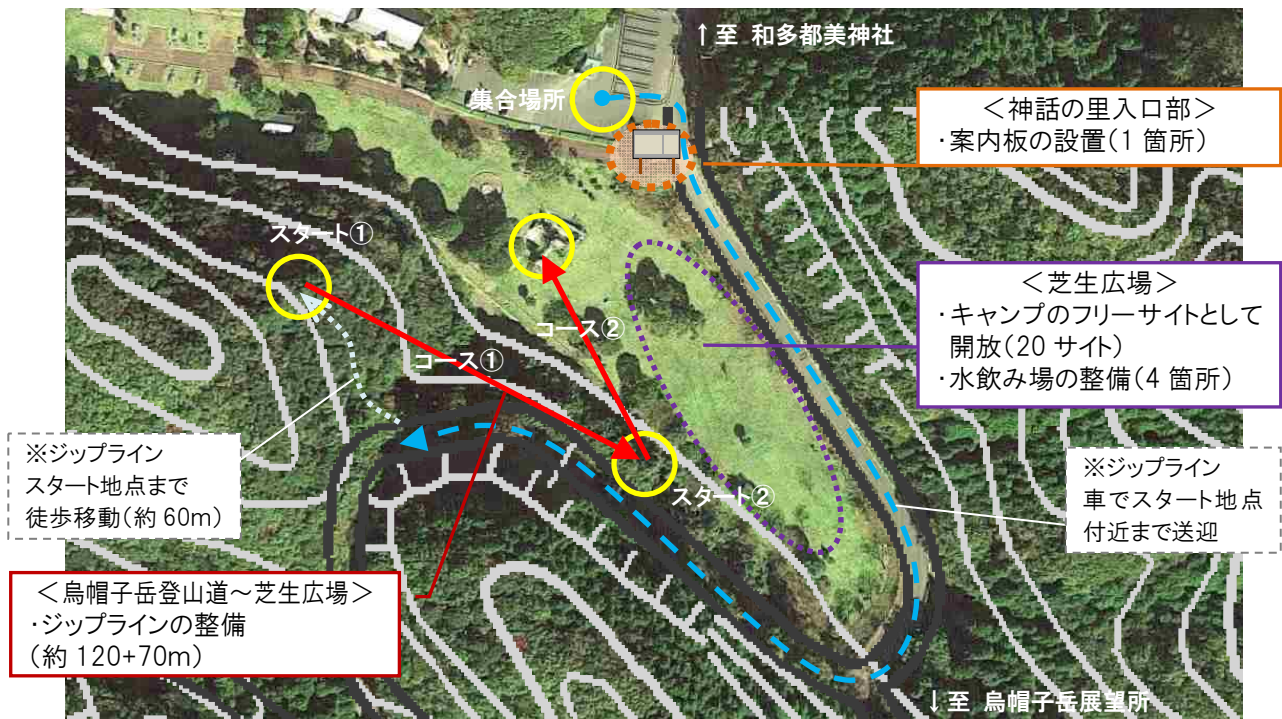
※近年の稼働率は、概ね20~25%

■近年の神話の里の収支状況

年度	H26	H27	H28
利用者数(人)	1,965	2,930	3,738
うち韓国人	1,683	2,539	3,005
収入(円)	1,286,400	1,708,700	2,184,600
グループあたり ※想定4人	2,691	2,333	2,338
支出(円)	4,545,602	5,349,376	8,273,706
差引(円)	▲3,259,202	▲3,640,676	▲6,089,106

整備計画図②

②芝生広場の再整備



整備の考え方:

芝生広場の利用率向上と宿泊数の確保、新たな魅力創出に向け、キャンプサイトとして整備を行います。また、烏帽子岳登山道の中腹から芝生広場にかけてジップラインを整備することで、新たなアクティビティの創出と烏帽子岳への来訪者の興味を引く仕掛けをつくれます。

整備イメージ②



■ジップラインの収支イメージ

＜初期費用＞

資材・整備費 : 400万
 装備品^{※1} : 60万

＜運営費用＞

人件費^{※2} : 90万/年
 メンテナンス費 : 30万/年
 保険費 : 別途

＜収益＞

利用料^{※3} : 675万/年

※利用料の事例

⇒滑降距離や園内利用料(別途)等により異なるが、概ね1,000～4,000円程度

※1) 4万/人 × 15セット

※2) 1,000円/h × 1h/回 × 3回/日 × 3日(金・土・日) × 50週/年 × 2人 ⇒時給1,000円(安全管理・移動時に同行・補助)、2人体制

※3) 1,500円/人 × 10人 × 3回/日 × 3日(金・土・日) × 50週/年 ⇒1回1,500円、3～4人×3グループ、週末3日、1日あたり4回

神話の里自然公園再整備事業 (3/3)

整備計画図③

③既存施設の付加価値向上



＜既存ふれあい交流棟・
既存管理棟(古民家)＞
・交流施設の整備
・イベント企画
(庭園/屋内ヨガ、出張
エステ、神話コスプレ
体験等)
・宿泊施設の整備
⇒既存施設の改修

＜入口部＞
・トイレの新設
※設置箇所は変更の可能性あり

＜既存憩いの家＞
・地元産のスイーツスタンドの
整備
⇒既存施設の改修

＜芝生広場＞
・遊具の更新(1箇所)

整備計画図③



屋内ヨガ



神話コスプレ体験



出張エステ



遊具の更新



憩いの家のスイーツスタンド



整備の考え方:

管理棟・ふれあい交流棟を改修し、宿泊室(風呂・トイレ付き)や交流室等を整備します。憩いの家については、内部を改装し、付加価値の高い商品を販売するスイーツスタンドとして整備します。また、老朽化が進行しつつある遊具は新たな魅力を提供できる遊具に更新します。

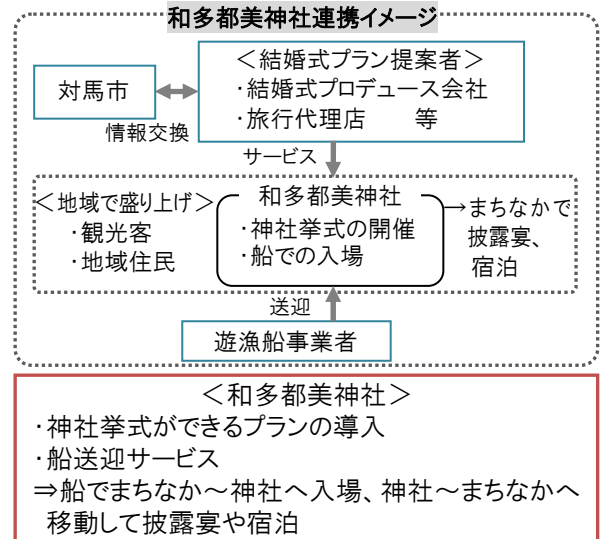
整備イメージ

④和多都美神社との連携

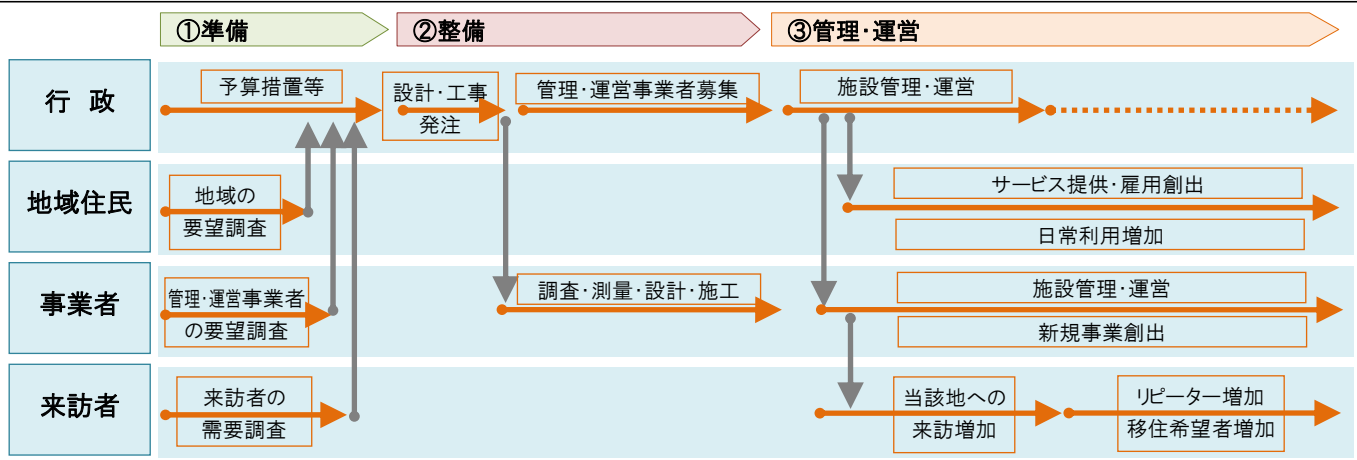


整備の考え方:

まちなかから船で鳥居をくぐりながら新郎新婦を神社へ送迎し、龍宮伝説の残る地で結婚式ができるプランを導入します。



事業計画イメージ



概算事業費

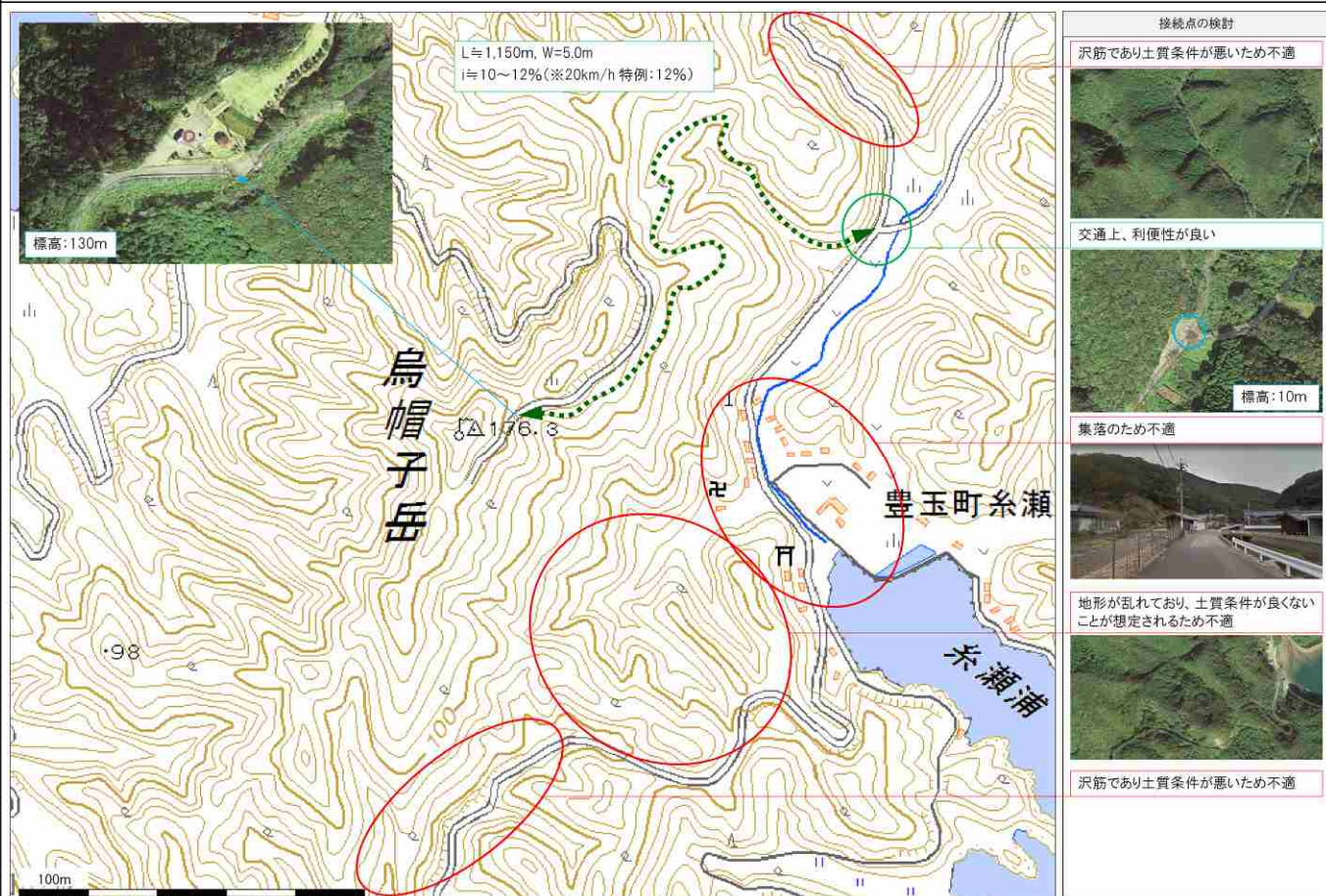
①コテージ・キャンプサイトの再整備			②芝生広場の再整備		
コテージ新設	9棟	3,800万	案内板	1箇所	150万
グランピング新設	3棟	2,000万	水飲み場(給排水含む)	4箇所	600万
ハーバルサウナ	1棟	2,000万	ジップライン(120+70m)	1箇所	460万 (装備品込)
簡易浮き栈橋	1箇所	600万	活用可能な補助事業		
解体	一式	500万			
③既存施設の付加価値向上			・地方創生推進交付金		
ふれあい交流棟・管理棟(古民家)改修	1棟	500万	・訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業		
憩いの家改修	1棟	300万	・過疎地域遊休施設再整備事業		
遊具の更新	1基	2,500万	・元気な観光地応援事業		
トイレ新設(約80㎡) ※男子:大5,小3、女子:7、多目的:1	1棟	1.0億 (設計込)	・地域課題解決型人材誘致・発掘補助金		

烏帽子岳～糸瀬ルート整備事業

事業対象地	烏帽子岳展望所駐車場～糸瀬	
対象エリア	“対馬のへそ”交流拠点エリア	
対象ゾーン	自然と歴史ロマン満喫ゾーン	
整備カテゴリ	ハード整備	道路整備(新設)
	ソフト整備	交通ネットワーク整備
事業概要	<p>近年、烏帽子岳展望所へ訪れる大型観光バスが増加していますが、現在の烏帽子岳道路は幅員が狭いため離合が困難な現況となっています。</p> <p>本事業は、烏帽子岳周辺の交通安全性及び利便性を向上させ、かつ烏帽子岳展望所での新たな事業機会の創出や一帯の回遊性の向上を図るため、烏帽子岳展望所から糸瀬方面へ降りる新たなルートを整備するものです。</p>	
整備優先度	短期・中期・長期	
関連する個別事業	新しい中対馬情報発信事業、神話と寄り添う体験フィールド整備事業、神話の里自然公園再整備事業	
事業主体	対馬市	
連携事業者	交通事業者	
備考	整備にあたっては土地所有者との調整が必要	



整備計画図



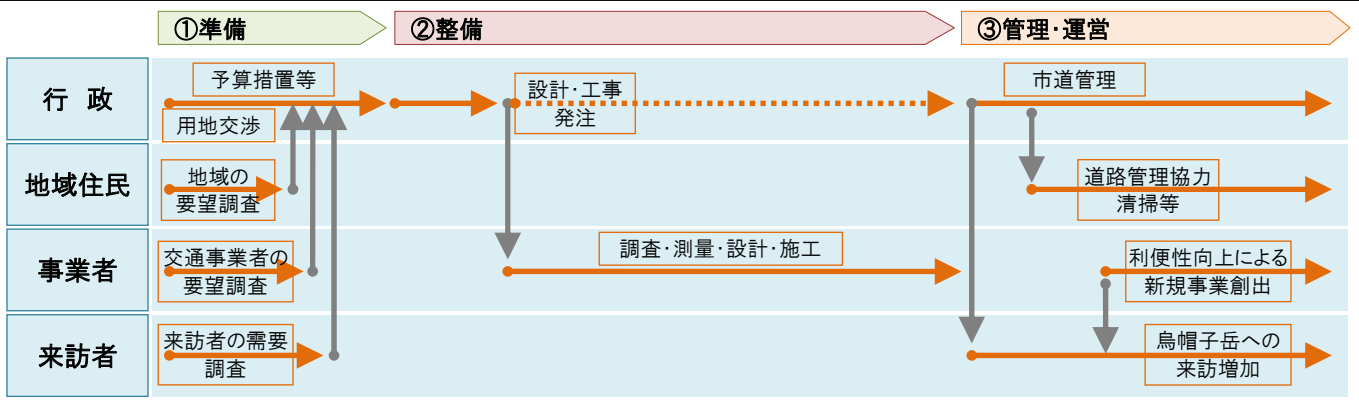
整備の考え方：

既存の烏帽子岳道路を神話の里から烏帽子岳展望所駐車場に向けての一方通行とし、新設するルートを烏帽子岳展望所駐車場から糸瀬に向けての一方通行とすることで、大型観光バスの離合を回避します。

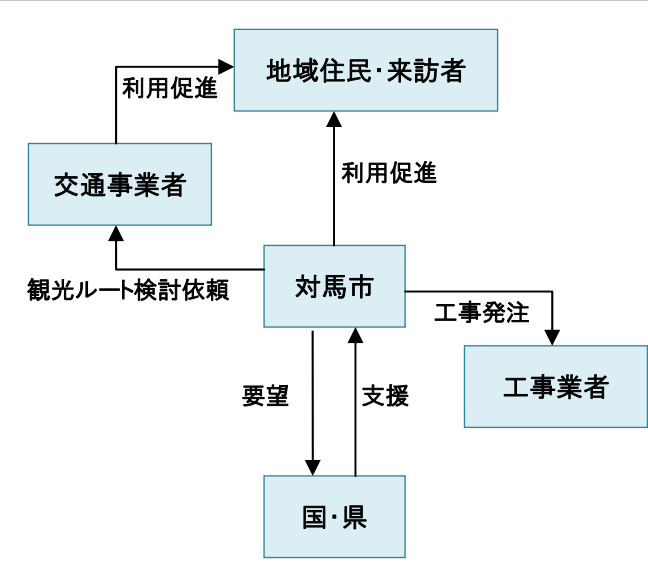
整備イメージ



事業計画イメージ



事業間の連携イメージ



概算事業費

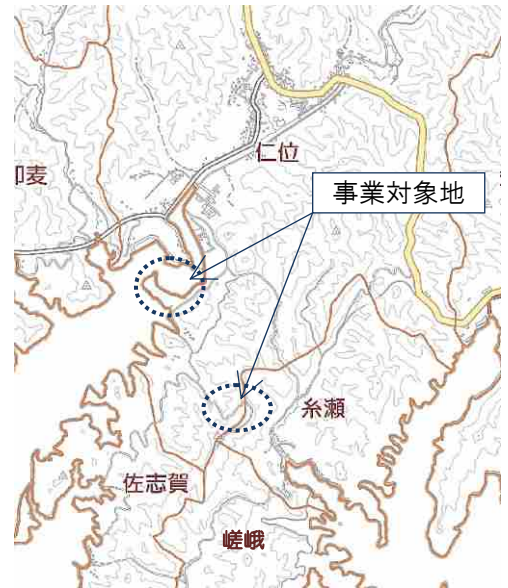
道路整備費 (W=5.0m、勾配 10~12%)	1,150m	7 億
調査・設計・事務等	1 式	2 億

活用可能な補助事業

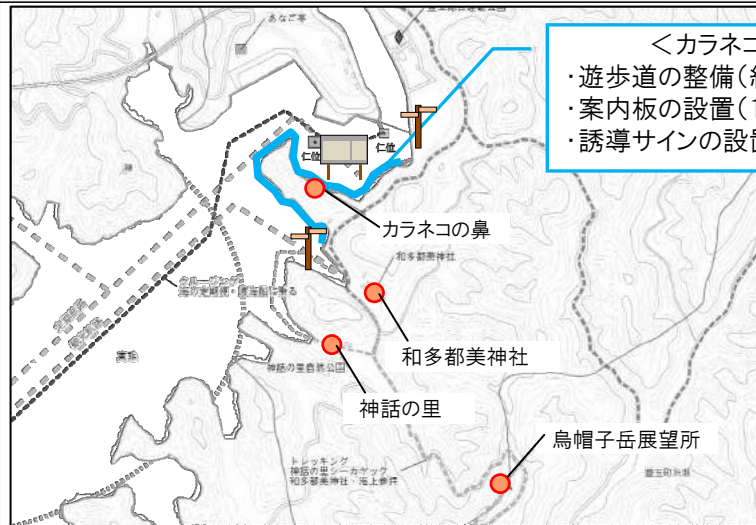
- ・社会資本整備総合交付金
- ・地方創生道整備推進交付金

神話と寄り添う体験フィールド整備事業

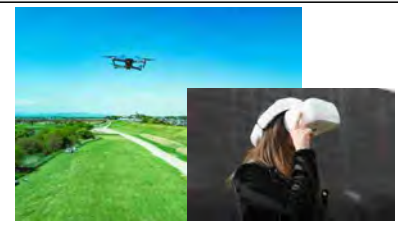
事業対象地	烏帽子岳展望所、カラネコの鼻	
対象エリア	“対馬のへそ”交流拠点エリア	
対象ゾーン	自然と歴史ロマン満喫ゾーン	
整備カテゴリ	ハード整備	小規模施設(新設)
	ソフト整備	人材育成、イベント企画
事業概要	現在、神話の里や烏帽子岳には観光客が多く訪れるものの、車で来訪し、観光したらすぐに別の場所へ移動するという状況となっています。そこで、仁位のまちなかから神話の里、烏帽子岳への滞在を促すために、海の景色を堪能できるサイクリングロードの整備や、烏帽子岳での「トリート・アクティビティフィールド」の整備を行います。	
整備優先度	短期・中期・長期	
関連する個別事業	神話の里自然公園再整備事業、魅力ある“まちなか”整備事業、新しい中対馬情報発信事業、Wi-Fi 環境整備事業	
事業主体	対馬市	
連携事業者	スポーツ・アウトドア関連事業者、ドローン事業者	
備考		



整備計画図



＜カラネコの鼻＞
 ・遊歩道の整備(約1km)
 ・案内板の設置(1箇所)
 ・誘導サインの設置(2箇所)



ドローン空中散歩(VRゴーグル)

＜烏帽子岳展望所広場＞
 ・ジップラインの整備(約70m)
 ・案内板の設置(1箇所)
 ・ヨガイベント企画
 ⇒島々の景色を眺めながらの天空ヨガフィールド
 ・ドローンイベント企画
 ⇒ドローン操縦士を配置してVR 空中散歩
 ※雨天時には神話の里で上映

整備の考え方:
 ①カラネコの鼻
 来訪者等がゆったりと美しい海を堪能できるよう、海沿いに環境配慮型遊歩道を整備し、車両交通と分離します。
 ②烏帽子岳展望所広場
 既存の広場を活用し、ヨガやドローン操縦ができるフィールドを整備します。ハード整備は案内板の設置とジップラインの整備とし、その他はソフト整備として、この場所での滞在者を増やすためのイベント企画などを行います。

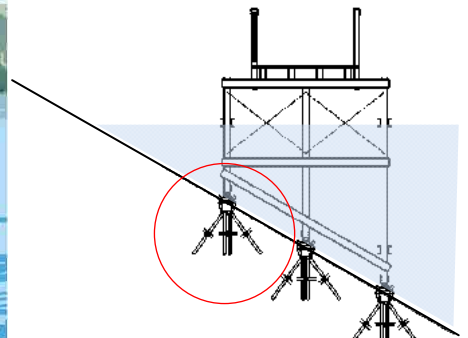
※VR: 仮想現実を体験するための技術



整備イメージ

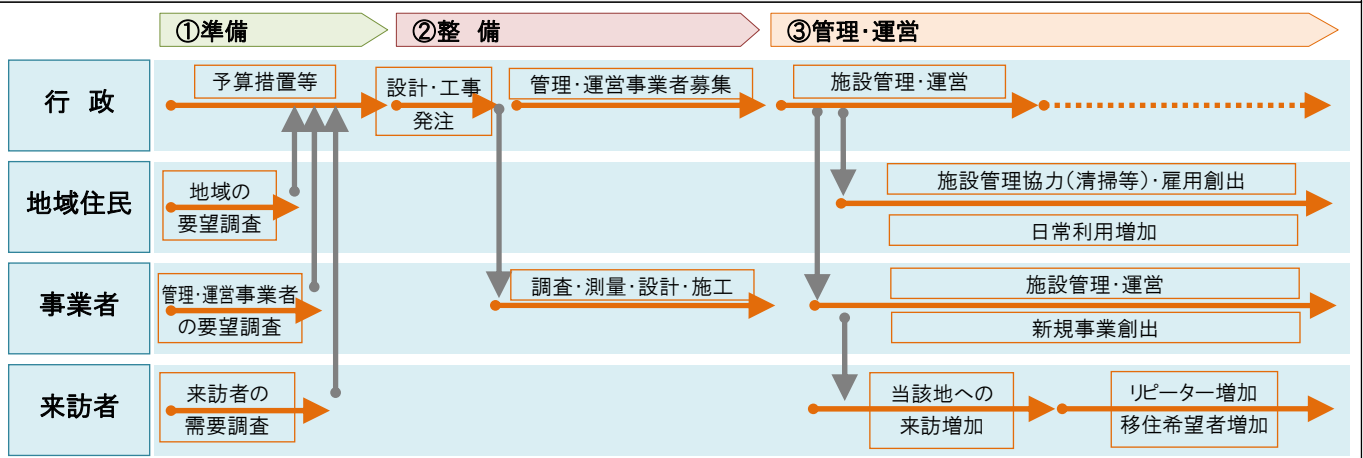


海上サイクリングロード(環境配慮型)

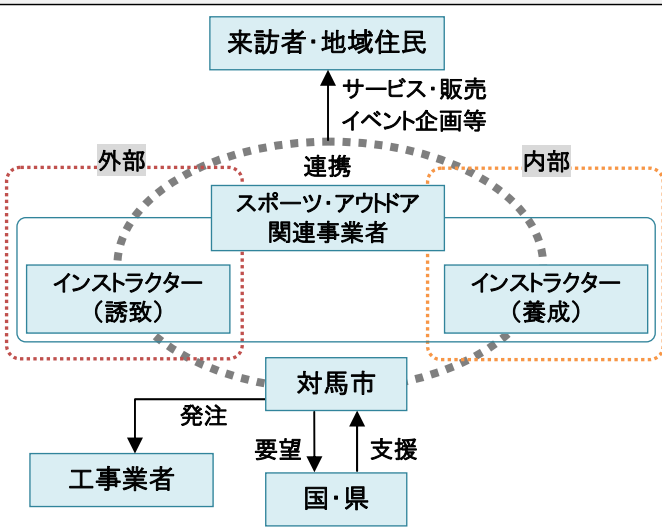


コンクリート基礎を使用しない環境に配慮した工法(岬の掘削なし)

事業計画イメージ



事業間の連携イメージ



概算事業費

遊歩道整備 ピンファウンデーション工法※1 支柱:GRC※2,デッキ材:合成木材※3	1km	5億
案内板	2箇所	300万
誘導サイン	2箇所	150万
ジップライン	70m	200万

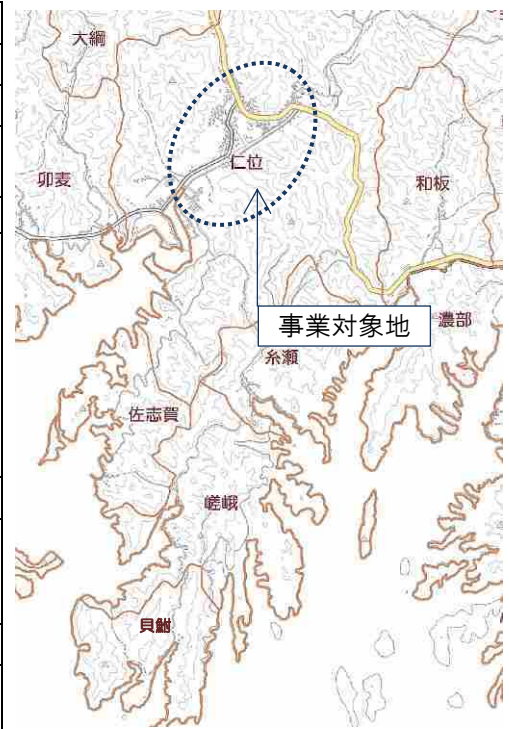
※1:コンクリート基礎を使用しない環境に影響の少ない工法
 ※2:ガラス繊維で補強したセメント製品
 ※3:天然木材に類似した成型材
 ⇒いずれも海水等によって腐食しない(国立公園等で実績多数)

活用可能な補助事業

・元気な観光地応援事業

魅力ある“まちなか”整備事業（1/2）

事業対象地	仁位中心市街地周辺	
対象エリア	“対馬のへそ”交流拠点エリア	
対象ゾーン	にぎわいと憩いの拠点ゾーン	
整備カテゴリ	ハード整備	建築施設(改修)、小規模施設(新築)、 広場・屋外等
	ソフト整備	人材育成、イベント企画
事業概要	現在、仁位のまちなかは、来訪者等をもてなす飲食店や休憩所、観光案内機能等が不足している状況となっています。そこで、当該地を中対馬の中心としてふさわしい場とするため、にぎわいと憩いの拠点として位置づけ、空き家や空き店舗等の利活用による飲食店や観光交流施設等の充実、道路沿道の景観美化など、来訪者等がまた来たくなるような環境整備を図ります。	
整備優先度	短期・中期・長期	
関連する個別事業	神話の里自然公園再整備事業、神話と寄り添う体験フィールド整備事業、民泊施設・移住支援住宅等整備事業、新しい中対馬情報発信事業、Wi-Fi環境整備事業	
事業主体	対馬市	
連携事業者	地元婦人部、飲食事業者、観光物産協会、花を愛する会(仮称)、商工会、林業関連事業者	
備考		



整備計画図

①まちなか沿道景観、フラワーロード、案内誘導施設の整備



整備の考え方:

まちなかの歩道や、川沿いの歩道については、フットライトを整備し、夜間の回遊性と景観の魅力を向上させます。また、仁位港までの歩道については、沿道(ガードレール等)に花を整備することにより、渡船発着場まで来訪者の気分を盛り上げつつ誘導するとともに、景観美化を図ります。

整備計画図

②空き家・空き店舗・空き地の利活用

<空き家の活用その1>

- ・地元農水産物提供スペース
- ・イベントの開催スペース
- ・寄り合い処の整備
- ・観光案内コーナー
- ⇒空き家を改修

<空き地の活用>

- ・共同駐車場の整備(30台)
- ・憩いの広場の整備
- ・トイレの整備
- ・レンタサイクルショップの整備(多言語対応)
- ⇒空き地の整備

整備の考え方:

まちなかに今後生じる空き家、空き店舗、空き地を利活用して、まちの中心部を活性化させ、より多くの来訪者が滞在できる場とします。
(宿泊施設の整備については民泊施設・移住支援住宅等整備事業参照)

<空き店舗の活用>

- ・共同キッチンの整備(海鮮料理、リトリート食、地元の母の味提供)
- ・食品加工所の整備(神話の里キャンプ場への食材提供)
- ⇒空き店舗を改修



豊玉高校

対馬市役所
豊玉庁舎スーパーサイキ
豊玉店

<豊玉町郷土館>

- ・中対馬の歴史案内スペース
- ⇒郷土館を改修(歴史探訪拠点の整備)

共同駐車場・憩いの広場(丸和跡地)

<空き家の活用その2>

- ・定住支援住宅の整備
- ・トイレの整備
- ⇒空き家を改修

豊玉中学校

豊玉地区公民館

③ふれあい工房の利活用

ふれあい工房



豊玉診療所

豊玉町福祉センター

特別養護老人
ホームわだつみ

<ふれあい工房>

- ・DIY 体験スペースの整備
- ⇒既存施設の工具等を活用

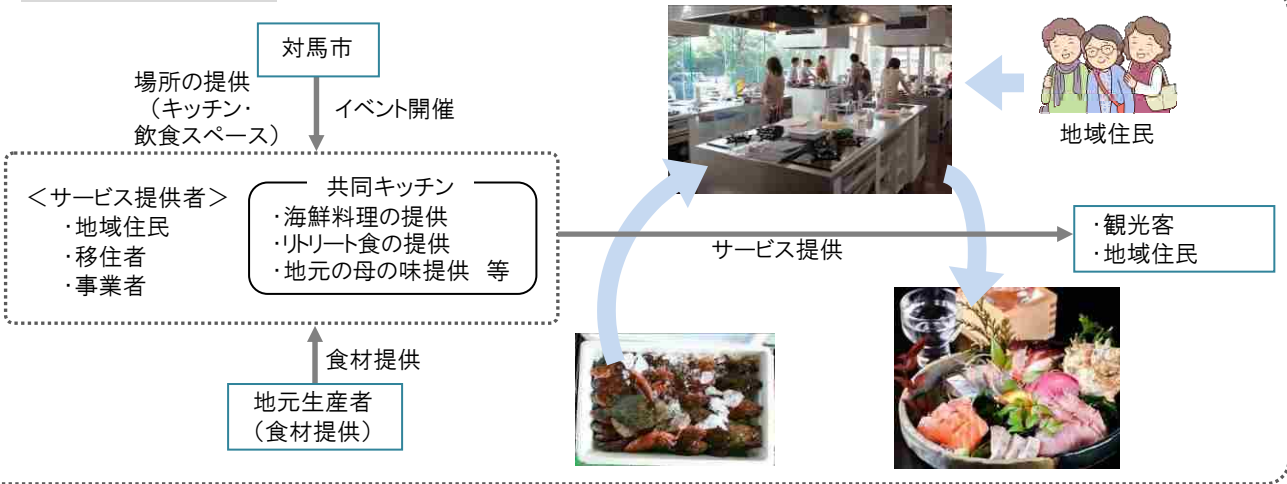
整備の考え方:

既存の道具を活用したDIY体験施設とし、リタイアした地域住民等の雇用機会の創出を目指します。

魅力ある“まちなか”整備事業（2/2）

整備イメージ

共同キッチン利用イメージ



食品加工所利用イメージ



DIY 体験施設利用イメージ



フラワーロード整備イメージ



整備イメージ



空き家・空き店舗の利活用



レンタサイクルショップ



共同キッチン



DIY 体験

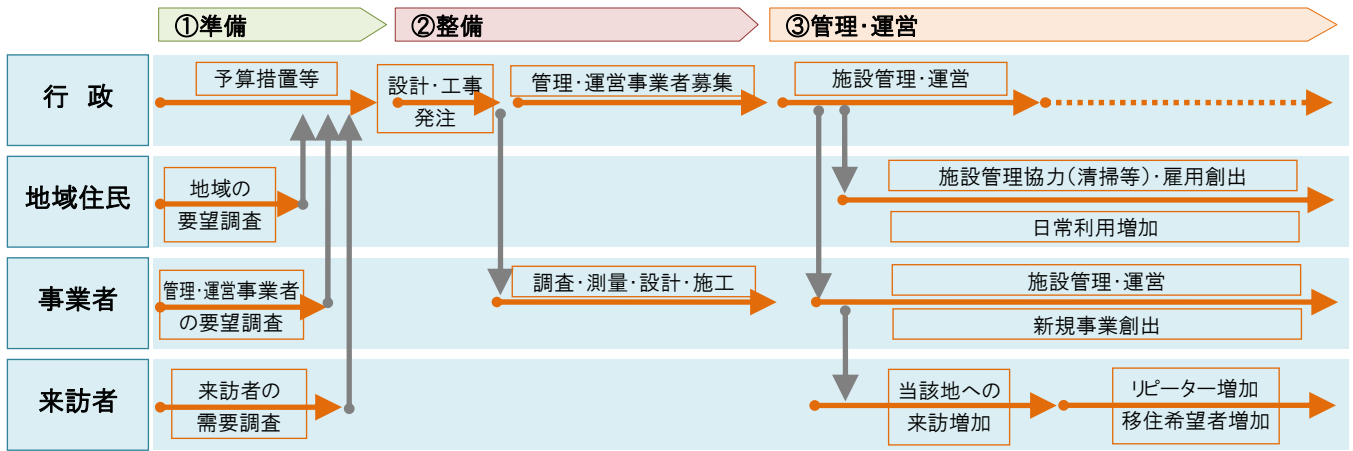


フラワーロード

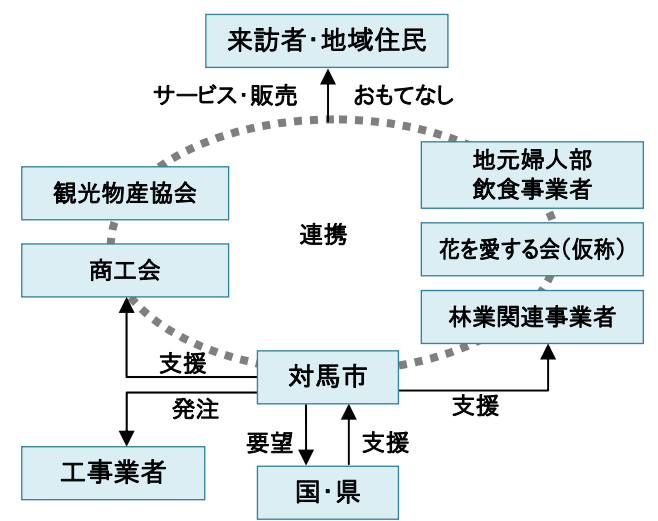


河川沿い遊歩道のライトアップ

事業計画イメージ



事業間の連携イメージ



概算事業費

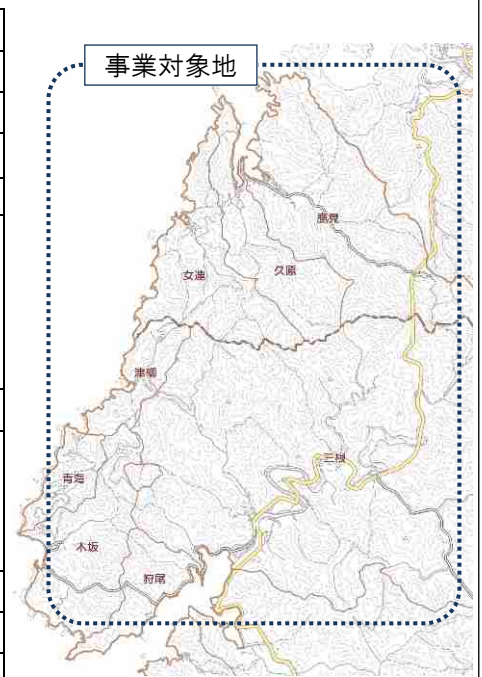
川沿いのライトアップ	45箇所	2,000万
案内板	2箇所	300万
誘導サイン	4箇所	300万
共同キッチン・食品加工所 (空き店舗活用)	2箇所	2,000万
寄り合い処(空き家活用)	1箇所	500万
共同駐車場・憩いの広場	2,200㎡	3,000万

活用可能な補助事業

- ・地方創生推進交付金
- ・特定有人国境離島地域社会維持推進交付金
- ・訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業

歴史を体感する周遊アクティビティフィールド整備事業（1/2）

事業対象地	峰町西部～上県町(鹿見・久原・女連)	
対象エリア	中対馬の奥座敷エリア・活力と安らぎの滞在エリア	
対象ゾーン	ー	
整備カテゴリ	ハード整備	小規模施設(新設)、路面標示
	ソフト整備	コース設定、AR、QRコード
事業概要	夕日美しい佐奈豊トンネルや青海の里などの地域資源を活かしきれない状況となっています。 これらの地域資源を活かし、来訪者や地域住民が歴史と自然を楽しみながら周遊するための仕掛けとして、サイクリング・トレッキングコースの設定や必要な施設整備等を行います。	
整備優先度	短期・中期・長期	
関連する個別事業	旧久原小中学校活用事業、西海岸の眺望景観整備事業、港の飲食店強化事業、青海の花畑スポット整備事業、海辺と森のリゾートフィールド整備事業、新しい中対馬情報発信事業、Wi-Fi環境整備事業	
事業主体	対馬市	
連携事業者	アウトドア関連事業者、地域の飲食・小売事業者	
備考	短期(5 年程度)でコースの詳細検討や既存マップへの追加を実施、中期以降に施設関係の整備を実施	



整備計画図

整備の考え方:
 佐奈豊トンネルの夕日観賞スポットや藻小屋等の観光地、ほたるの湯のような休憩スポットなどを線で結び、周遊コースを設定することで、体を動かし、体を休ませることができるフィールドを整備します。

<休憩スポット①の整備>

- ・サイクルスタンドの設置(1箇所)
- ・案内板の設置(1箇所)
- ・誘導サインの設置(1箇所)
- ・バス停の改修(1基)

<森林トレッキングコースの設定>

- ・案内板の設置(3箇所)
- ・誘導サインの設置(3箇所)
- ・距離標の設置(5箇所)
- ・AR、QRコードの整備
(鹿見口バス停～三根山中～国道382号)

<サイクリングコースの設定>

- ・案内板の設置(3箇所)
- ・誘導サインの設置(6箇所)
- ・路面標示の整備(約25.5km)
- ・AR、QRコードの整備
(鹿見口バス停～旧久原小中学校～藻小屋～ほたるの湯～鹿見口バス停)

サイクリストの立ち寄り拠点
 ・既設サイクルラックの活用と郵便局との連携

※AR: 現実の風景に情報を重ね合わせて表示する技術
 QRコード: 高速読み取りを重視したマトリクス型2次元コード

整備イメージ(コース全体)



距離標・カロリー標記

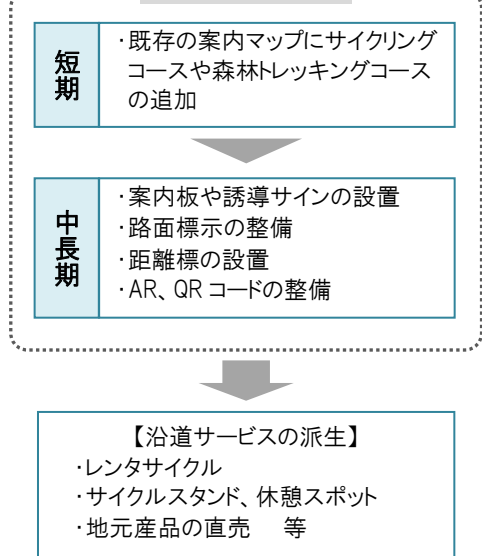


ARによるルートやスポット案内

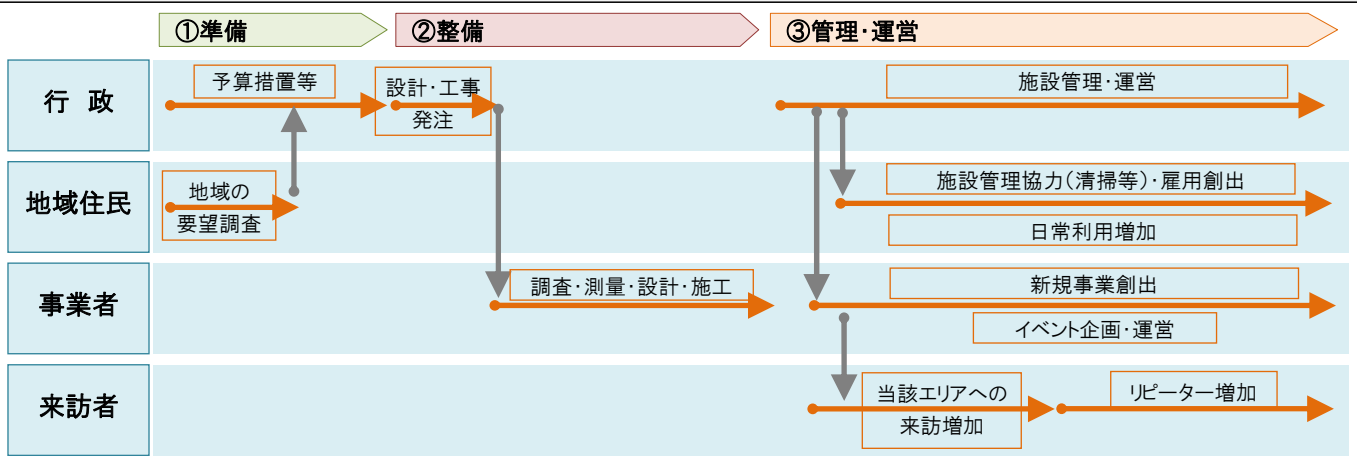


自転車用路面標示 (ブルーライン)

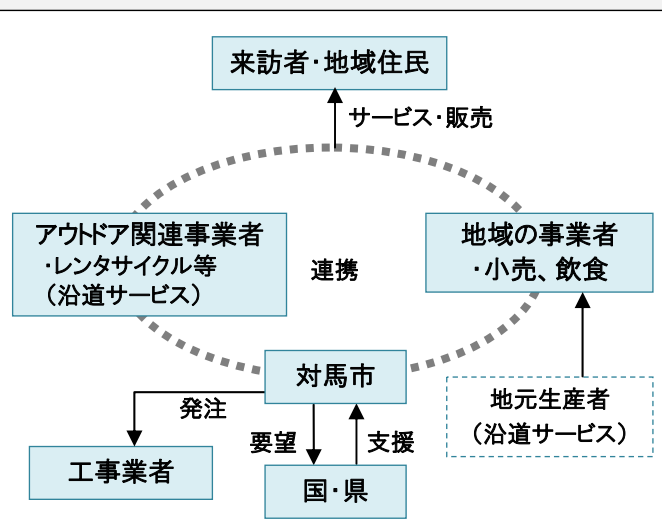
段階的整備の考え方



事業計画イメージ



事業間の連携イメージ



概算事業費

案内板	7箇所	1,000万
誘導サイン	10箇所	700万
距離標	5箇所	200万
サイクルスタンド	1箇所	10万
バス停の改修	1基	200万
路面標示	25.5km	1,300万

※AR、QRコードは、整備内容(コンテンツ)及びサーバへのデータ保持期間・更新頻度等によるため省略

活用可能な補助事業

元気な観光地応援事業

歴史を体感する周遊アクティビティフィールド整備事業（2/2）

整備計画図(休憩スポット①)

■ 鹿見口バス停



＜周遊の魅力案内＞
 ・案内板の設置
 （サイクリングやトレッキングコースの案内、対馬の案内）
 ・コース誘導サインの設置

＜鹿見口バス停＞
 ・バス待合所兼休憩所に改修、自動販売機の設置

＜サイクリストサイト＞
 ・サイクルスタンドの設置
 ・公衆トイレの設置
 ・水のみ場の設置

整備の考え方：

上対馬からの玄関口であることや、サイクリングやトレッキングの中継スポットとして位置づけ、サイクリングやトレッキングの途中休憩ができる休憩スポットとして充実させるとともに、中対馬の周遊の魅力を案内する整備を行います。

また、休憩所の新設や自動販売機の設置を行うとともに、中対馬周遊の魅力を案内することで、これまで上対馬から下対馬へ行くだけであったサイクリスト等を中対馬へ誘導促進します。

整備イメージ(休憩スポット①)



整備イメージ



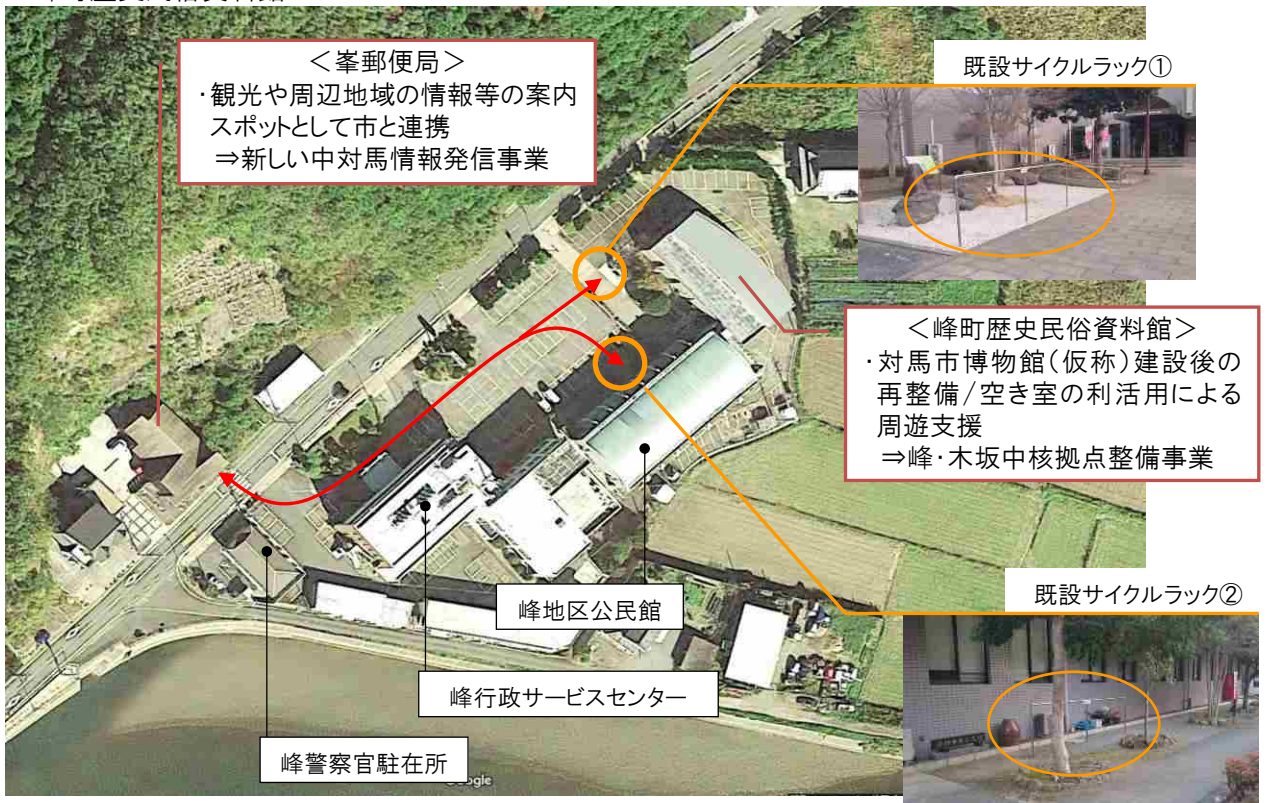
サイクルスタンド



案内板

整備計画図(休憩スポット②)

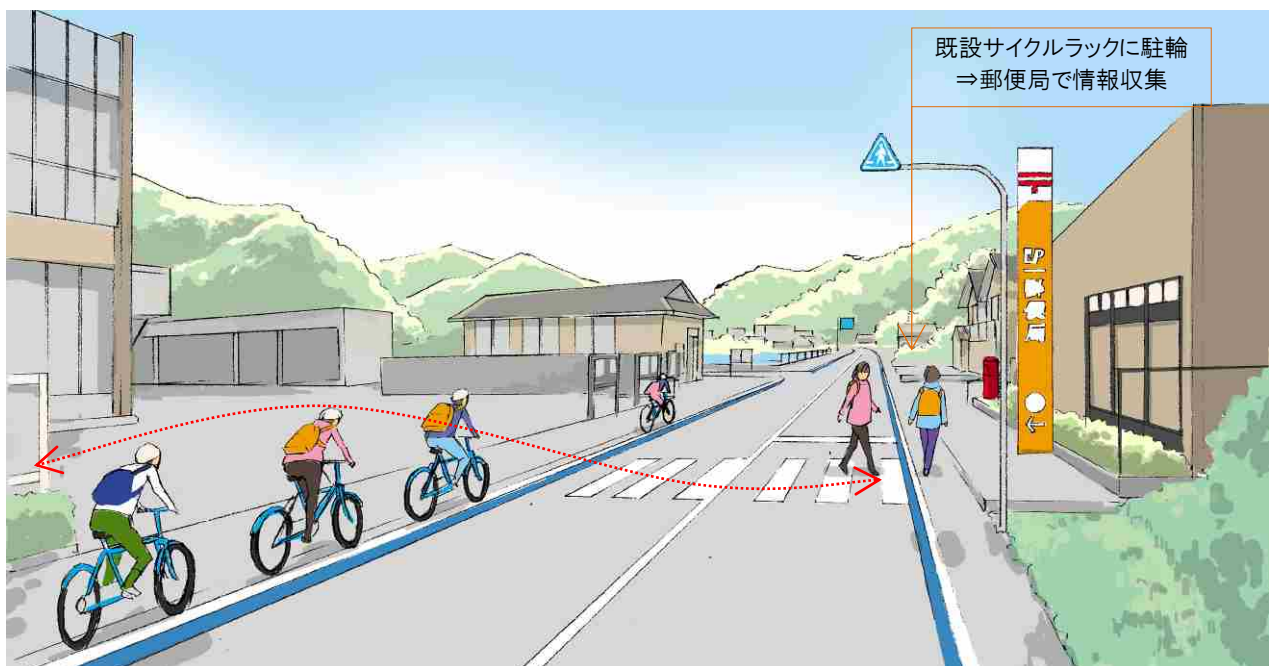
■ 峰町歴史民俗資料館



整備の考え方:

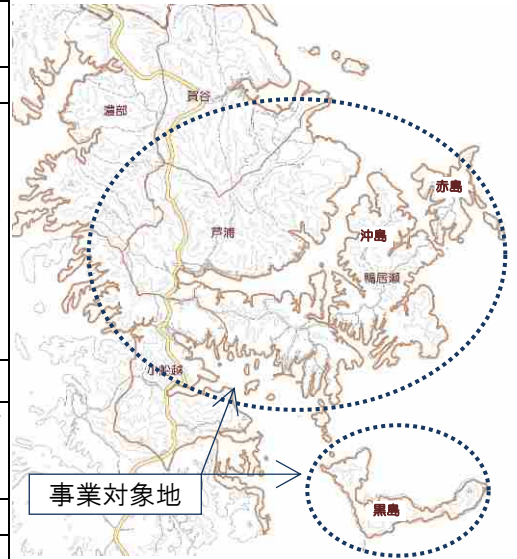
エリアの中心的な位置にある峰地区公民館には、サイクルラックが2基設置されています。サイクリングコースの立ち寄り拠点として既存施設を活用するとともに、地域の情報発信拠点を担う郵便局との連携を図りながら中対馬の周遊の魅力を案内する体制を整備します。

整備イメージ(休憩スポット②)

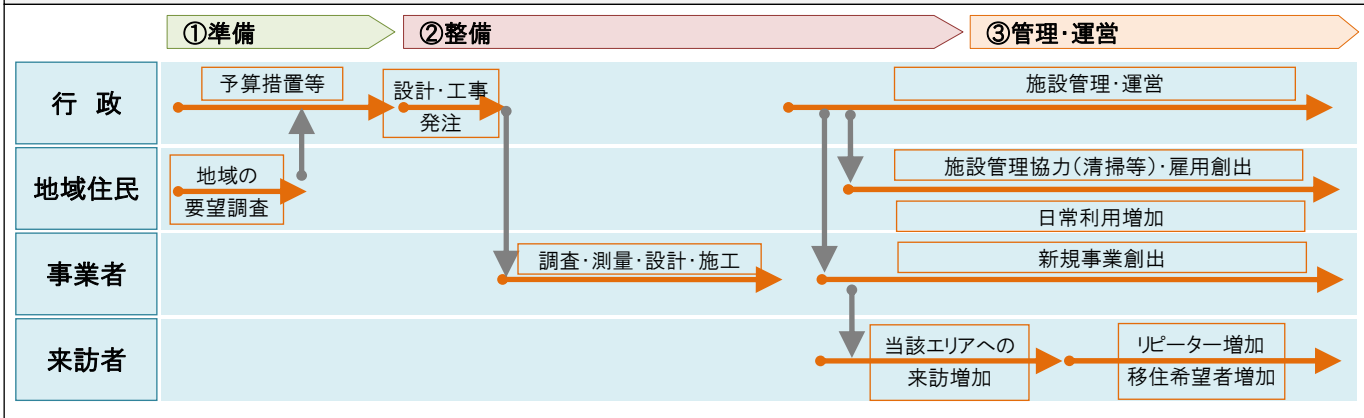


しまの周遊アクティビティフィールド整備事業

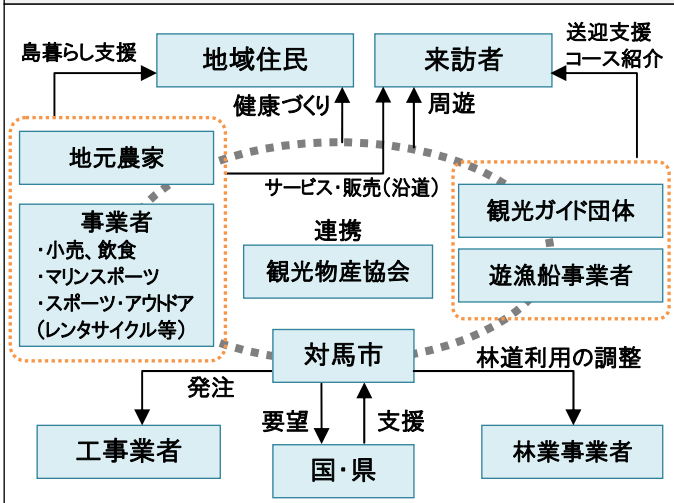
事業対象地	芦浦・鴨居瀬・小船越・黒島周辺	
対象エリア	ゆったり島暮らしエリア	
対象ゾーン	自然のやすらぎゾーン	
整備カテゴリ	ハード整備	小規模施設(新設)、路面標示、建築施設(改修)、広場・屋外等
	ソフト整備	コース設定、創業支援、イベント企画
事業概要	<p>美しい海岸部を有する赤島・黒島や、歴史を感じさせる西の漕出の湾部を活かし、新たなアクティビティフィールドとして活用するプログラムを整備します。</p> <p>また、旧鴨居瀬小学校は、沖島・赤島の玄関口にあたる良好な立地にあり、建物の修繕等を前提とした活用により、地域の中核拠点として地域住民の生活利便性向上や寄り合い処、来訪者の滞在、交流等を図るための整備を行います。</p>	
整備優先度	短期・中期・長期	
関連する個別事業	しま暮らし満喫プログラム整備事業、新しい中対馬情報発信事業、民泊施設・移住支援住宅等整備事業、Wi-Fi環境整備事業	
事業主体	対馬市	
連携事業者	観光物産協会、観光ガイド団体、地元農家、スポーツ・アウトドア関連事業者、マリンスポーツ事業者、林業事業者、遊漁船事業者	
備考		



事業計画イメージ



事業間の連携イメージ



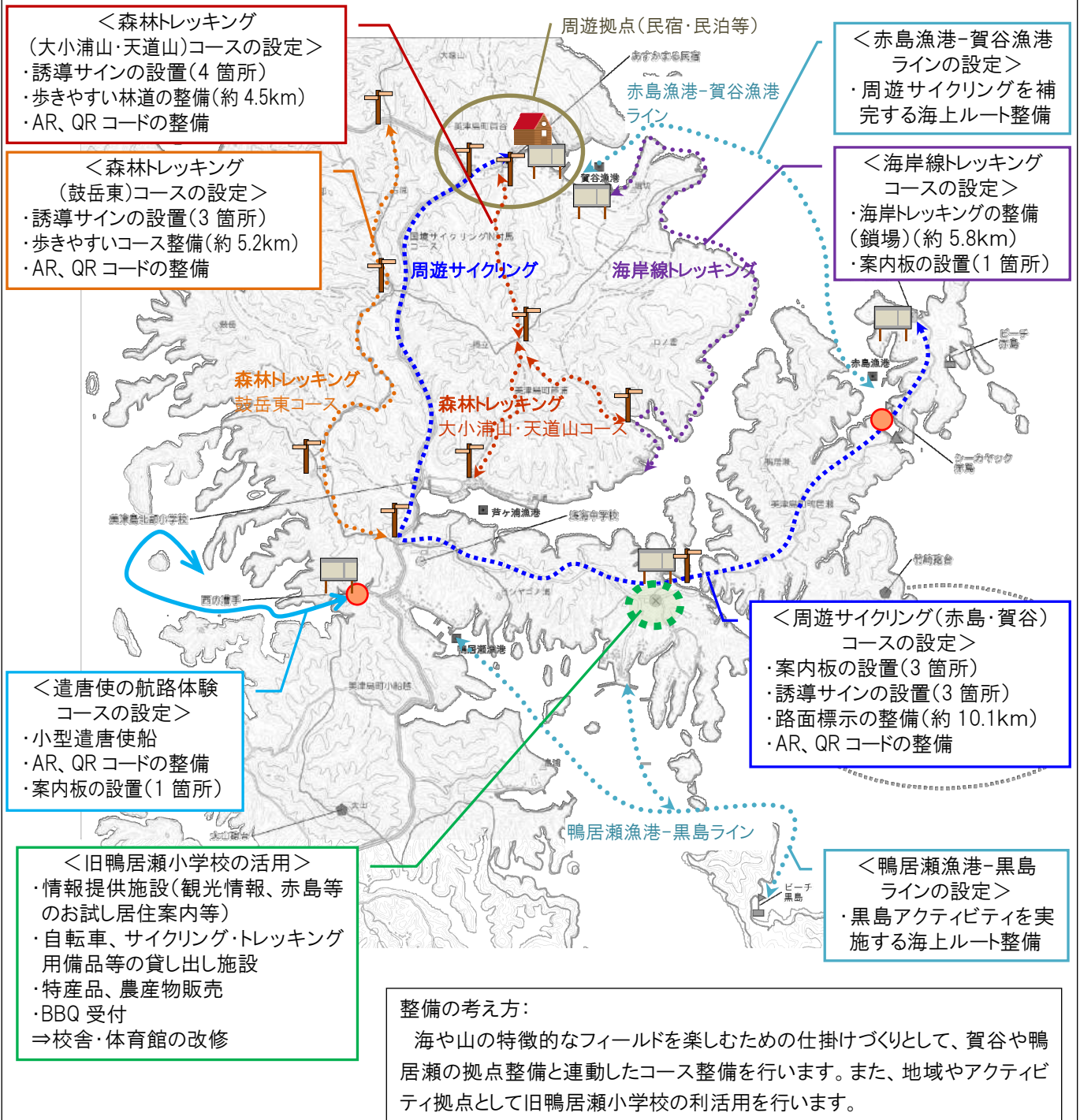
概算事業費

歩きやすい林道整備(基面整正)	9.7km	1,200万
案内板	5箇所	800万
誘導サイン	10箇所	700万
鎖場(海岸トレッキング)	5.8km	3,000万
旧鴨居瀬小学校改修	1,500㎡	1.2億
耐震改修が必要な場合	設計+改修	3,700万

活用可能な補助事業

- ・元気な観光地応援事業
- ・小さな楽園づくり交付金事業

整備計画図



＜森林トレッキングコース＞



トレッキングのコース整備

＜海岸線トレッキングコース＞



海岸線トレッキングの鎖場

＜遣唐使の航路体験コース＞



小型の遣唐使船(イメージ)

岬のアクティビティフィールド整備事業

事業対象地	小網漁港周辺、豊玉町西部	
対象エリア	岬のお散歩エリア	
対象ゾーン	—	
整備カテゴリ	ハード整備	道路整備(改修)、 小規模施設(新設)、路面標示
	ソフト整備	コース設定、AR、QRコード
事業概要	小網漁港周辺は、漁業が盛んであると同時に、民泊施設もあるため、釣りや漁業体験、海洋生態にふれあう等のアクティビティを楽しみながら滞在もできる環境を整備します。 また、当該エリアへの来訪者等が海と山を堪能しながら周遊できるサイクリングコースを設定します。	
整備優先度	短期・中期・長期	
関連する個別事業	海辺の中核拠点整備事業、大石浦砲台ルート整備事業、廻空き地活用事業、新しい中対馬情報発信事業、海辺の中核拠点整備事業、Wi-Fi環境整備事業	
事業主体	対馬市	
連携事業者	漁協、地元漁業従事者、定置網漁師等、アウトドア関連事業者、国立環境研究所	
備考		



整備計画図

<海洋生態体験場>

- ・漁業従事者、宿泊施設と連携
- ・サンゴ礁の観覧(シュノーケリング体験)
- ⇒体験ポイントまで船で送迎

<定置網体験場>

- ・漁業従事者・宿泊施設と連携
- ⇒体験支援者募集

<海上釣り堀>

- ・小網漁港の湾内に釣り堀を整備
- (漁業従事者・宿泊施設と連携、釣った魚を宿泊先で調理)

小網漁港周辺拡大写真



整備の考え方:

エリア全体をサイクリングできるように、使用されていない旧道や林道(大網卯麦線)の整備のほか、漁業従事者や宿泊施設と連携して、釣りや定置網体験、サンゴ礁の観覧など、地域と密着したアクティビティを体験できるフィールドの整備を行います。

<サイクリング支援スポット>

- ・佐保の生活館をサイクリングコースの中継・休憩スポットとして活用
- ・グラウンドゴルフによる地域との交流拠点



<サイクリングコースの設定>

- ・林道整備(約4.1km)
- ・誘導サイン(6箇所)
- ・路面標示(約26km)
- ・AR、QRコードの整備(仁位~大網~東加藤~廻の岬)

※AR: 現実の風景に情報を重ね合わせて表示する技術
 QRコード: 高速読み取りを重視したマトリクス型2次元コード

整備イメージ



定置網体験



海上釣り堀



荒れた旧道の整備

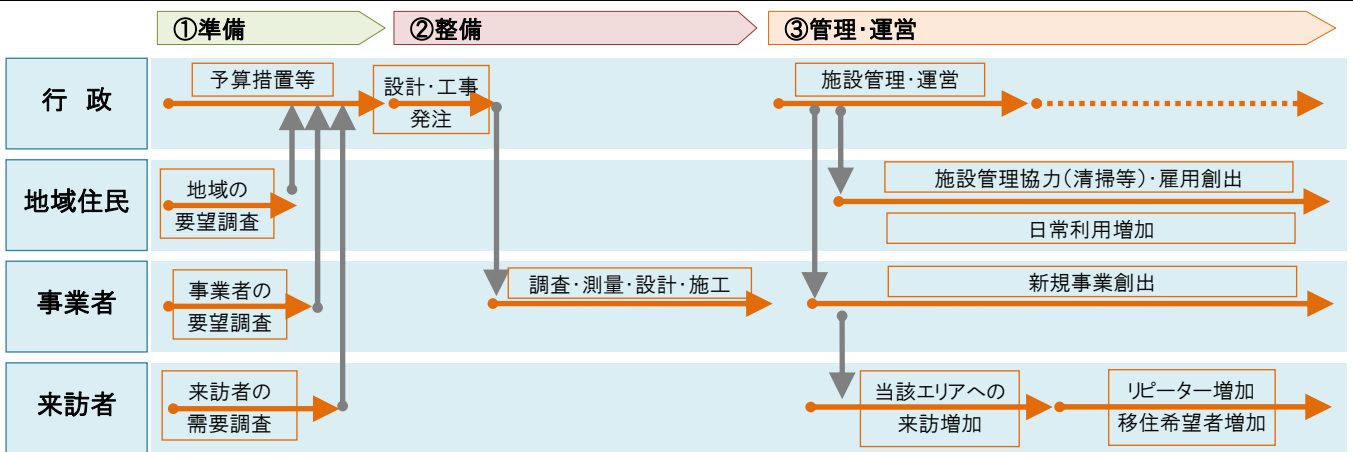


シュノーケリング体験

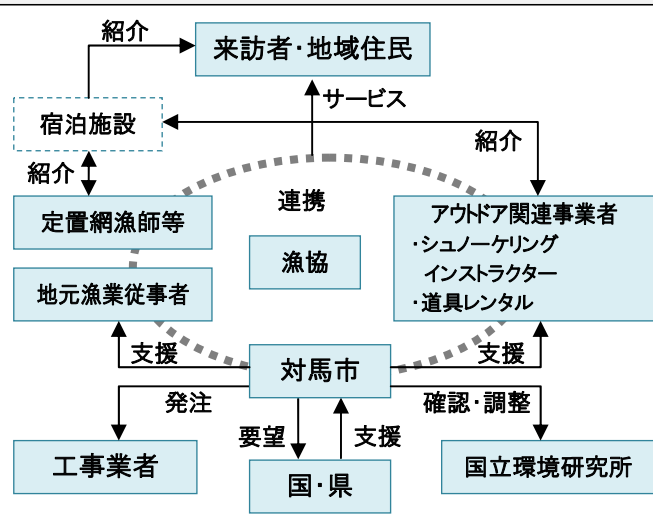


自転車用路面標示
(ブルーライン)

事業計画イメージ



事業間の連携イメージ



概算事業費

林道整備 落石除去 路面補修(切削オーバーレイ)等 ※路線面積の10%を想定	4.1km	1,200万
誘導サイン	6箇所	450万
路面標示	26km	1,000万
海上釣り堀(4基)※付帯施設含む	1箇所	5,000万

※AR、QRコードは、整備内容(コンテンツ)及びサーバへのデータ保持期間・更新頻度等によるため省略

活用可能な補助事業

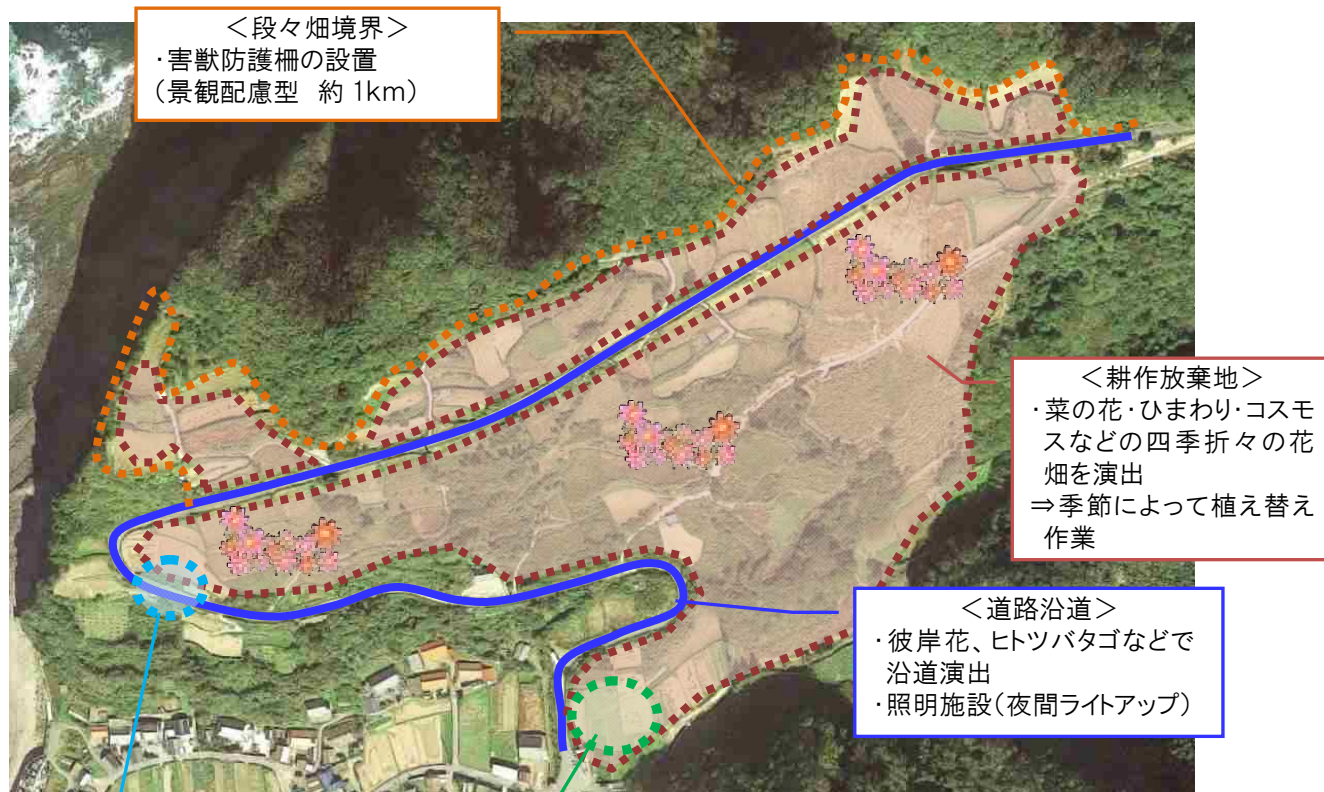
- ・元気な観光地応援事業
- ・小さな楽園づくり交付金事業

青海の花畑スポット整備事業

事業対象地	青海の里の段々畑
対象エリア	活力と安らぎの滞在エリア
対象ゾーン	歴史と花畑の憩いゾーン
整備カテゴリ	ハード整備 小規模施設(新設)、景観形成
事業概要	青海の里の段々畑は古きよき時代からの風景が残る風光明媚な里ですが、近年は後継者不足で荒れた状態の畑も多い状況です。その美しい風景を維持していくためにも、荒れた畑や道路沿道に四季折々の花を植え、地域住民や来訪者等の憩いの場とするため、花畑の整備を行います。
整備優先度	短期・中期・長期
関連する個別事業	歴史を体感する周遊アクティビティフィールド整備事業、海辺と森のリゾートフィールド整備事業、新しい中対馬情報発信事業、民泊施設・移住支援住宅等整備事業、Wi-Fi環境整備事業
事業主体	対馬市
連携事業者	農業振興公社、花を愛する会(仮称)
備考	



整備計画図



＜段々畑境界＞
・害獣防護柵の設置
(景観配慮型 約1km)

＜耕作放棄地＞
・菜の花・ひまわり・コスモスなどの四季折々の花畑を演出
⇒季節によって植え替え作業

＜道路沿道＞
・彼岸花、ヒツパタゴなどで沿道演出
・照明施設(夜間ライトアップ)

＜休憩スポット＞
・展望デッキ整備(1箇所)
・ベンチ(3基)
・写真撮影スポットの案内
(花と海を觀賞しながら休憩できるスポット)

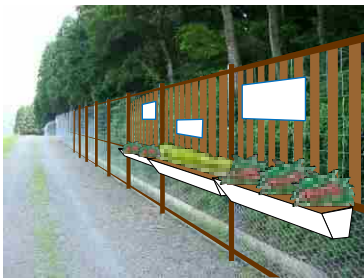
＜加工・販売所＞
・加工施設(ひまわりの種や菜種などから油抽出など)
・加工品販売施設

整備の考え方:
段々畑の道路沿道や耕作放棄地に四季折々の花を演出し、来訪者が海と花を觀賞しながら散歩することができる環境を整備します。また、途中に休憩スポットを整備することでゆったりとした時間を過ごせる空間を創出します。

整備イメージ



展望デッキ

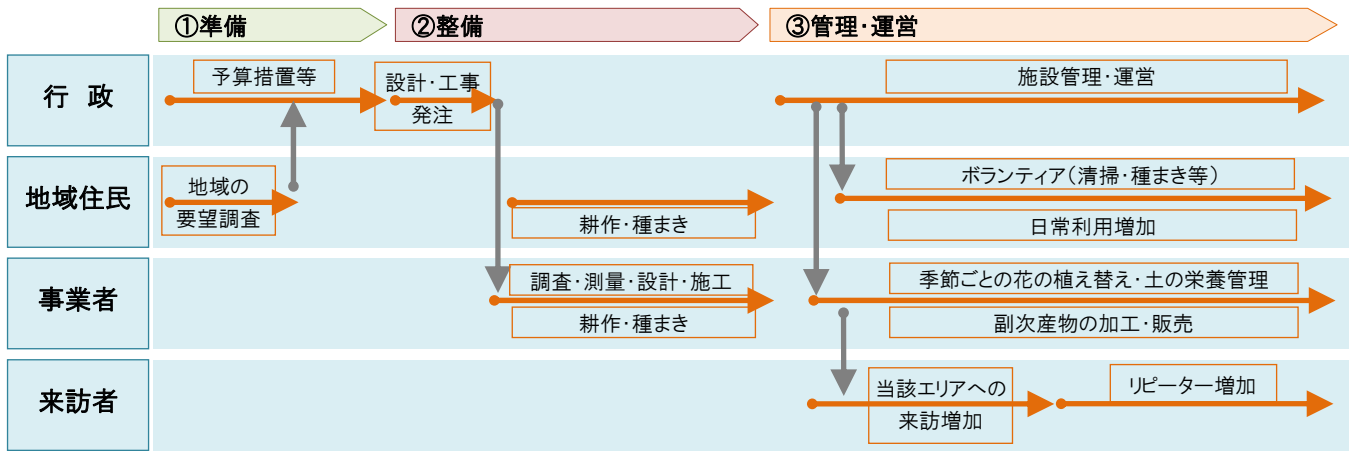


害獣防護柵(景観配慮型)

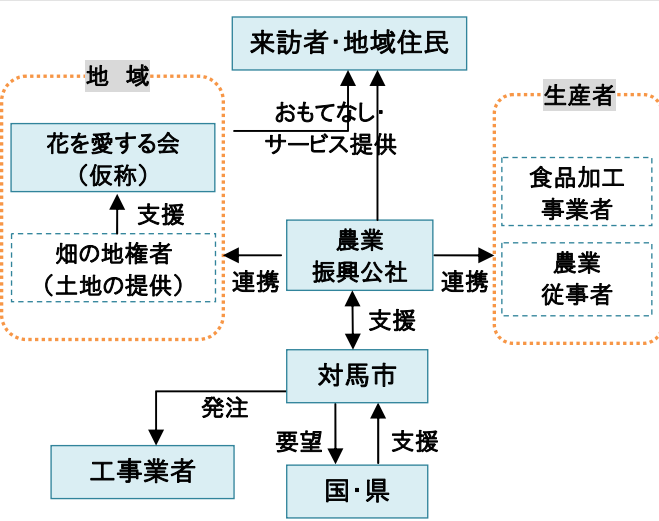


花畑イメージ

事業計画イメージ



事業間の連携イメージ



概算事業費

害獣防護柵(1.8m)	1.0km	3,000万
展望デッキ	1箇所	600万
ベンチ	3基	100万
沿道照明(ソーラー型)	20基	1,000万
加工・販売所(空家改修)	1棟	5,000万

※通常のワイヤーメッシュ柵の場合は500万

活用可能な補助事業

- ・農山漁村振興交付金
- ・小さな楽園づくり交付金事業
- ・景観形成関連事業

海辺と森のリトリートフィールド整備事業

事業対象地	木坂	
対象エリア	活力と安らぎの滞在エリア	
対象ゾーン	歴史と花畑の憩いゾーン	
整備カテゴリ	ハード整備	小規模施設(新設)、広場・屋外等
	ソフト整備	人材育成、コース設定、イベント企画
事業概要	野鳥の森や海神神社などは、安らぎを感じるスポットではありますが、地域資源として活かされていない状況と言えます。これらの地域資源を活かして来訪者等が安らげる施設整備やイベント・プログラム等の開発をすることで、滞在できる環境の整備を行います。	
整備優先度	短期 ・ 中期 ・ 長期	
関連する個別事業	歴史を体感する周遊アクティビティフィールド整備事業、峰・木坂中核拠点整備事業、新しい中対馬情報発信事業、民泊施設・移住支援住宅等整備事業、Wi-Fi環境整備事業	
事業主体	対馬市	
連携事業者	野生生物保護センター、神社関係者(氏子団体等)	
備考		



整備計画図

＜木坂展望台＞

- ・案内板の設置(1箇所)
- ・誘導サインの設置(1箇所)
- ・瞑想イベント企画
(海風を感じながら瞑想で心を癒すフィールド)

＜リトリートロード＞

- ・各リトリートスポットを結ぶコース設定(2.4km)
- ・リトリートの地域イメージづくりを図るため、ヨガや癒し等をイメージさせるデザインの路面標示をコース上の主要な箇所(広場等の付近や交通上支障のない箇所)に設置

整備の考え方：

木坂展望台、木坂御前浜園地、海神神社、野鳥の森をリトリートスポットと位置づけ、それぞれを線で結び、リトリートコースを設定することで、体と心を癒すことができる一連のリトリートフィールドを整備します。

＜野鳥の森＞

- ・案内板の設置(1箇所)
- ・誘導サインの設置(1箇所)
- ・森林浴イベント企画
(森の恵みを感じながら森林浴で心を癒すフィールド)

＜海神神社＞

- ・ヨガスペース確保
- ・誘導サインの設置(1箇所)
- ・ヨガインストラクターの誘致
- ・ヨガプログラム開発
- ・ヨガイベント企画
(森と神社の神秘を感じながらヨガで体を癒すフィールド)

＜木坂御前浜園地＞

- ・誘導サインの設置(1箇所)
- ・スローフードイベント企画
- ・ヨガマット貸し出し
(海を見ながら地元のスローフードを食すフィールド)
(せんだんご茶屋の整備、ヨガマット貸し出し所併設)
⇒峰・木坂中核拠点整備事業参照

＜木坂の集落＞

- ・飲食や民泊などリトリート体験支援機能
⇒民泊施設・移住体験支援住宅等整備事業参照

整備イメージ



神社ヨガ



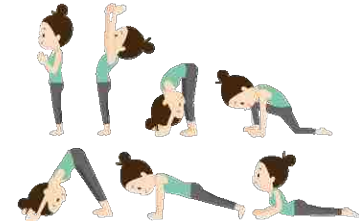
森林セラピー



海風を感じながら瞑想

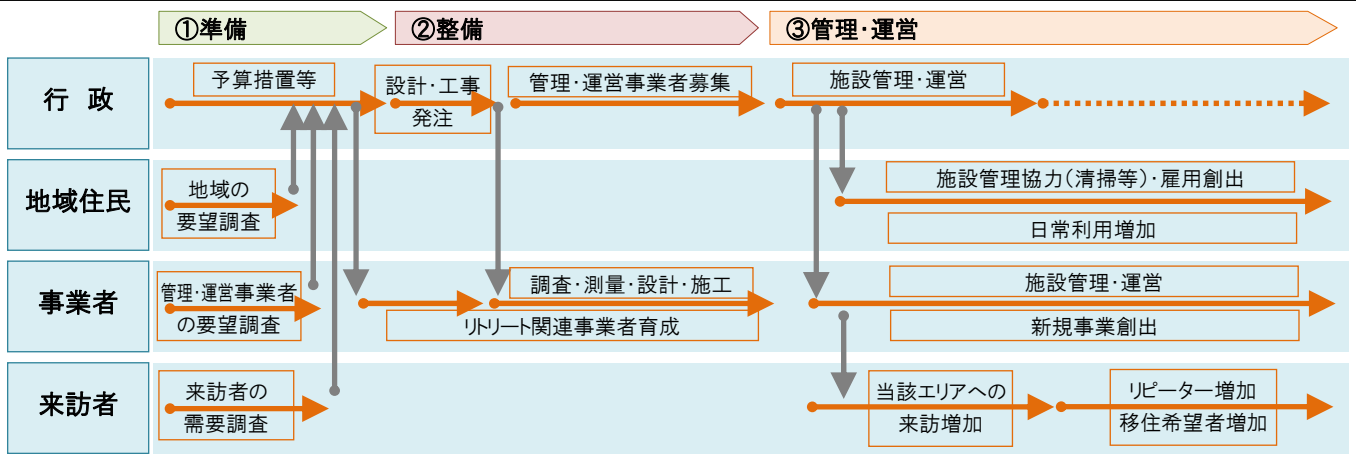


案内板

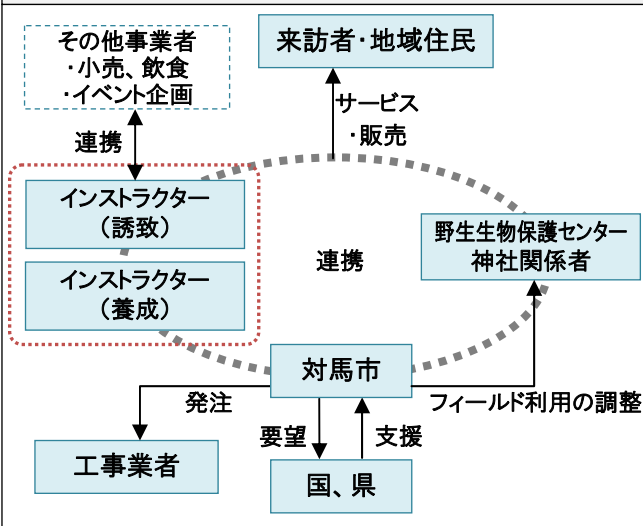


※インストラクターの育成イメージについては、「民泊施設・移住支援住宅等整備事業」を参照

事業計画イメージ



事業間の連携イメージ



概算事業費

案内板	2箇所	300万
誘導サイン	4箇所	280万
リトリートロード(路面標示) ※貼付シートタイプ・デザイン込み	15箇所	70万
フィールド整備(基面整正)	3,000㎡	150万

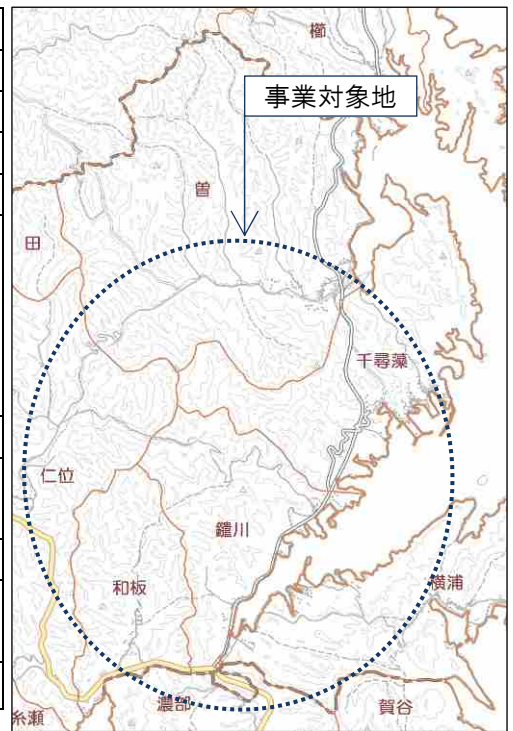
※リトリートロードの路面標示は、
※フィールド整備は、リトリートイベントを実施する各箇所の地表を適切に均すことを想定

活用可能な補助事業

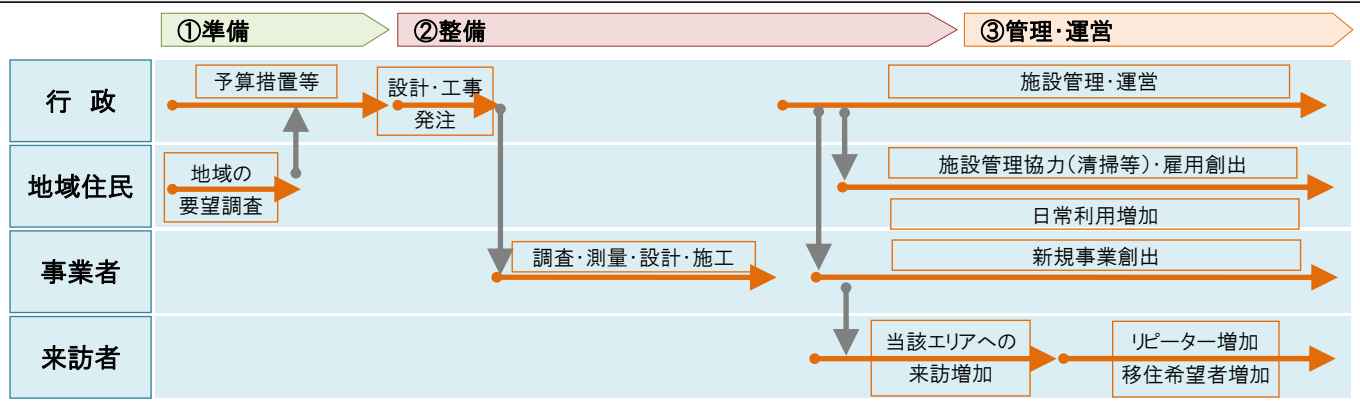
- ・元気な観光地応援事業
- ・小さな楽園づくり交付金事業

豊玉東部周遊アクティビティフィールド整備事業

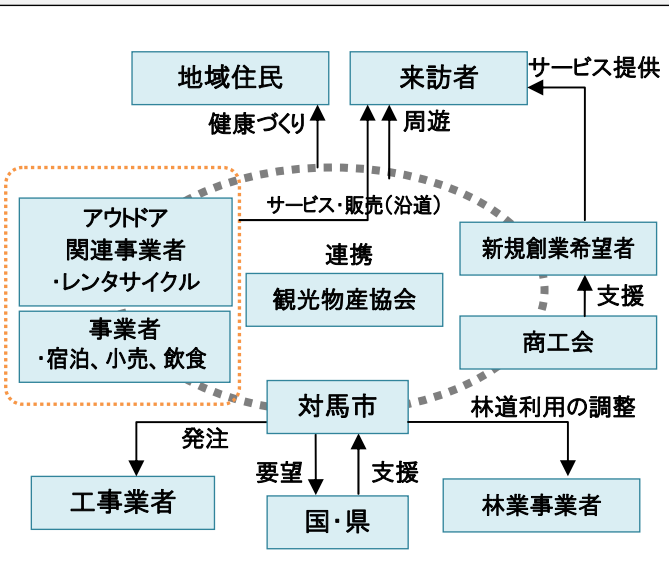
事業対象地	仁位～和板～横浦～鑓川～千尋藻～曾
対象エリア	漁業と食の生業発信エリア
対象ゾーン	山と海の魅力周遊ゾーン
整備カテゴリ	ハード整備 小規模施設(新設)、路面標示、広場整備
	ソフト整備 コース設定、AR、QRコード、送迎サービス
事業概要	仁位や千尋藻といった中対馬でも比較的宿泊施設が整備されている地区が近くにある利点を活かし、林道や海岸線、豊玉の猪垣など、自然の地形や埋もれた地域資源を楽しめるアクティビティフィールドとして、サイクリングやトレッキングコースを整備します。
整備優先度	短期・中期・長期
関連する個別事業	しまの周遊アクティビティフィールド整備事業、新しい中対馬情報発信事業、Wi-Fi環境整備事業
事業主体	対馬市
連携事業者	アウトドア関連事業者、林業事業者、観光物産協会、商工会、宿泊・飲食・小売事業者、新規創業希望者
備考	



事業計画イメージ



事業間の連携イメージ



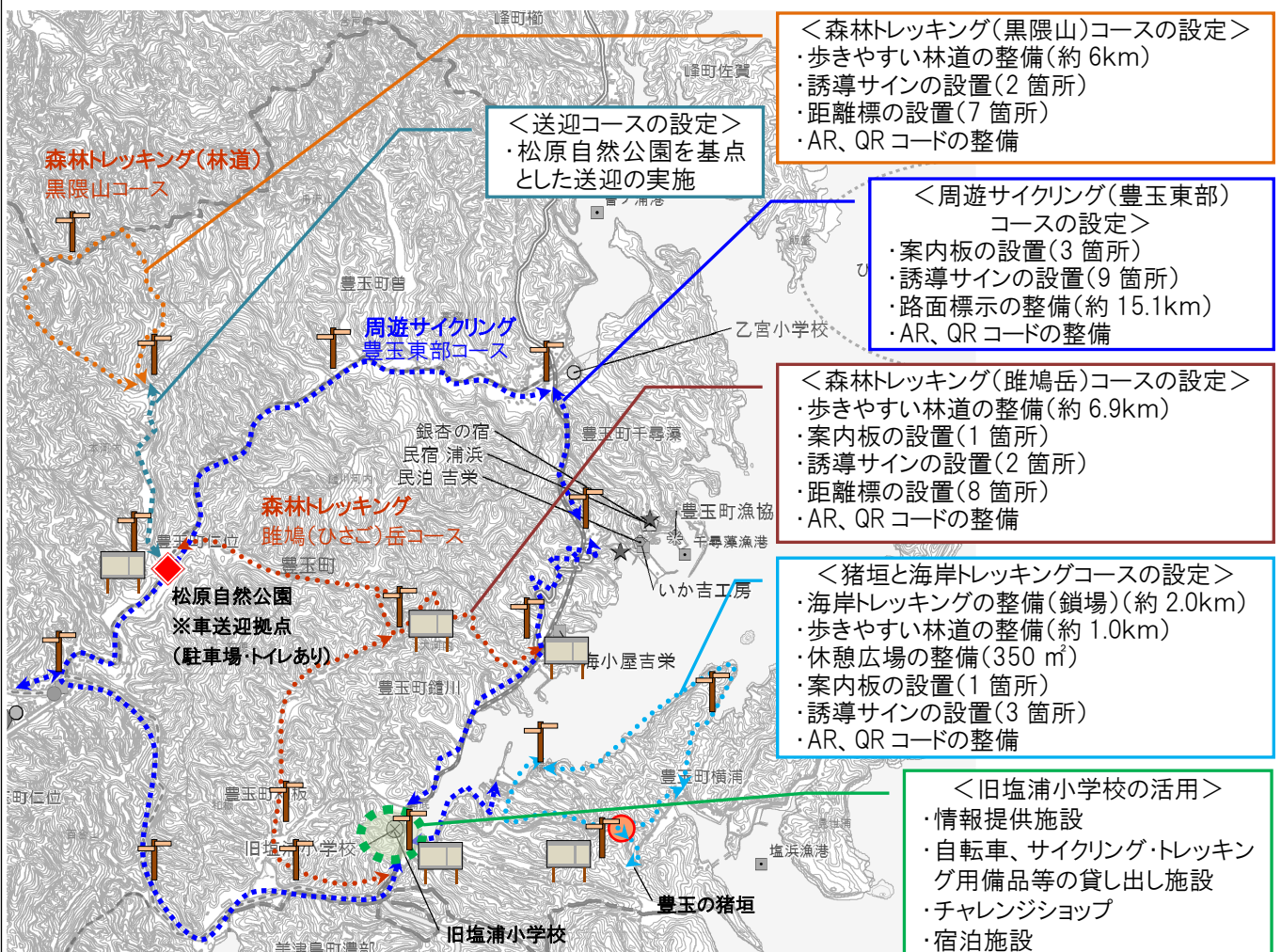
概算事業費

歩きやすい林道整備(基面整正)	13.9km	1,200万
案内板	5箇所	800万
誘導サイン	16箇所	1,200万
距離標	15箇所	600万
路面標示	15.1km	800万
鎖場(海岸トレッキング)	2.0km	1,200万
旧塩浦小学校改修	1,600㎡	8,000万
耐震改修が必要な場合	設計+改修	4,000万

活用可能な補助事業

- ・元気な観光地応援事業
- ・小さな楽園づくり交付金事業

整備計画図・整備イメージ



整備の考え方:

民宿や民泊が位置する千尋藻や、中核拠点施設となる旧塩浦小学校を拠点としたエリアを周遊できるサイクリングコースを設定・整備します。また、既存の林道や海岸線を活かしたトレッキングを楽しめるコースを整備します。



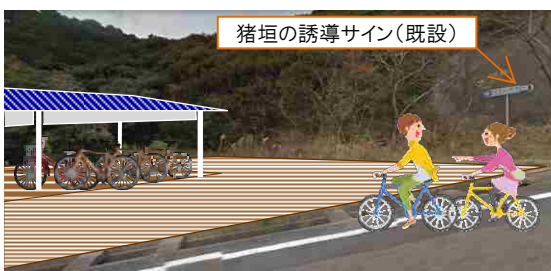
森林トレッキングの休憩スポット



楽しい距離標



自転車用路面標示 (ブルーライン)



猪垣の誘導サイン(既設)

猪垣の休憩広場の整備



海岸トレッキングの鎖場